

論点提起

コロナ禍の総括と 新たな地平に向けて

芝原 靖典

Japa 日本専門家活動協会 代表理事

Japan Association for Professionals' Activities

newseiten@japa.fellowlink.co.jp

目 次

- 自己紹介
 - 論点提起のバックボーン
-
- 感染症の歴史
 - 今回のコロナ禍の経緯
 - コロナ禍への対応
 - コロナ禍の社会経済への影響
 - 課 題
 - 新たな地平に向けて
 - 時代認識
 - 新たな地平への道筋

論点提起のバックボーン

- 今回のコロナ禍を次に向けての糧/イノベーション起点とするにはどうすべきか、**多分野の専門家が、習合(ならいあい)・連携・共創**すべきテーマであり、「**Japa**」の**めざすところ**でもあり、今回のテーマとした。
- 過去の大災害の経験・反省を踏まえて、今回のコロナ禍の発生直後（2019年末）から、コロナ禍に関する情報をキュレーションし、アーカイブする「**特設コーナー**」<https://japa-fellowlink.wixsite.com/website-2>を開設し、逐次、情報アップしてきた。
 - 阪神淡路大震災（1995、インターネット黎明期、ヒアリング+印刷物）
 - 東日本大震災（2011、Web普及期、Web情報収集）
 - Web情報の問題点：一定期間をすぎると、情報が消える、サイトが消える
 - ・ 今回のコロナ禍においても、既に、5/8以降、関連サイト・情報にアクセスできない状態が発生している。
- この**3年余の事実データをベース**にコロナ禍を**多様な視点から総括**し、課題を抽出し、**新たなステージに向けての論点提起**を行う。

Japa 日本専門家活動協会
Japan association for professionals' activities

新型コロナウイルス感染症 特設コーナー

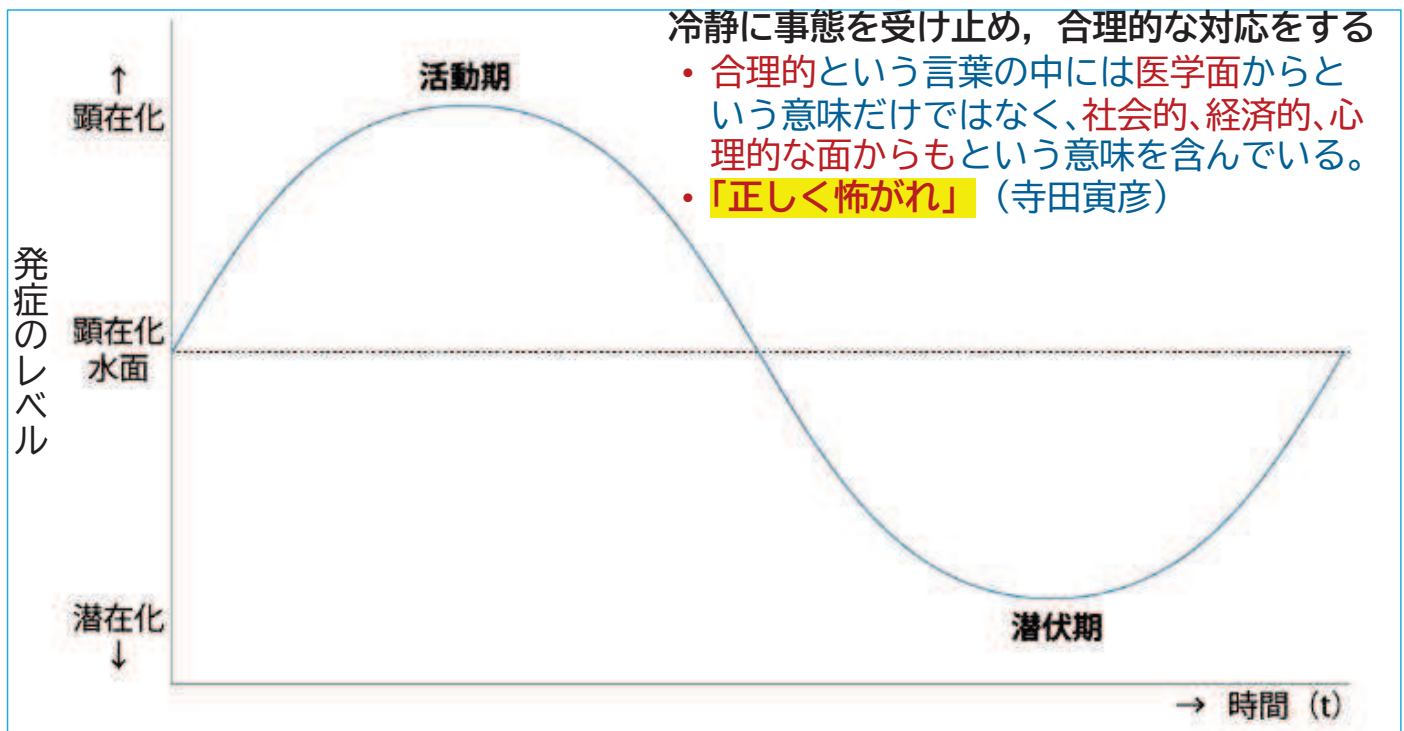
ホーム 感染状況 時系列事象 参考情報 影響分析・提言等 文献・歴史 お役立ち情報 関連サイト お問合せ

Stay safe and stay healthy

コロナ禍後の新たなステージへ

感染症の歴史

With/afterもない ウイルスとは歴史的に共存



再帰性現象のモデル

出典：COVID-19の感染拡大による社会の変化 機関誌「心理学ワールド」2022年4月号 京都大学 名誉教授 / (公財)国際高等研究所 フェロー 木下 富雄 日本心理学会 <https://psych.or.jp/publication/world097/pw06/>

大規模感染症の歴史

感染症	年代	死亡者数（推計）
人類の誕生以前にウィルスや菌類の誕生。エジプトのミイラに結核・天然痘等の感染痕		
ペスト（黒死病）	14世紀	8,000万人程度（ヨーロッパ人口の1/3）
天然痘	16世紀	2,000万人程度 ※1980年根絶宣言
コレラ	19世紀	数百万人 → 公衆衛生・疫学が生まれた
インフルエンザ		
ロシア風邪	1889～1895頃	100万人 コロナ？
スペイン風邪	1918～1920	5,000万人～1億人（感染者数5億人以上）
アジア風邪	1956～1958	100万人～200万人
香港風邪	1968～1970	100万人
新 型	2009～2010	15万人～57万人
コロナウィルス	※21Cに入り、3度発生	
SARS	2002～2003	812人 ※重症急性呼吸器症候群
MERS	2012年～	881人 ※中東呼吸器症候群
新型	2019年～	694万人（2023.5.24 AM6:03時点）

注：各種資料より作成

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

7

人類活動とコロナ禍

- 人類の移動・定住（水辺） → 川の水の共用による消化器系の病気が流行
- 都市化・文明化 → 都市に人が集まる → 接触による呼吸器系感染症が流行
- 都市の巨大化・過密化 → 飛沫や空気による呼吸器系感染症が流行

出典：感染症の歴史から見えてきたウィルスと人間の関係「石弘之さんインタビュー」 2020年07月21日 科学技術振興機構

<https://tinyurl.com/2m34gvx6>

ビル・ゲイツが驚きの見通しを提示…「ポストコロナの世界で起きること」2022.07.15 現代ビジネス

<https://gendai.media/articles/-/97482> 等

グローバル化

- 経済効率優先のグローバル競争 → 一極集中化・寡占経済化
→ 格差・貧困、それに伴う都市の衛生状態あるいは生活環境の悪化

- 環境破壊・生態系破壊 → 野生動物と人間の近接化
→ コロナウィルスによる感染症の頻発化

- グローバルな人の移動拡大・迅速化・サプライチェーン化
→ 感染拡大のスピード化（2ヶ月で全大陸へ）、感染対応の格差拡大

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

8

補：パンデミックが残したもの

■ 天平7年(735年)～天平10年「天平のパンデミック」(天然痘、はしか)

- 当時の日本総人口の約25～35%死亡
- 聖武天皇は「政務停止」を命じる。中央官庁のロックダウン
- 全国に国分寺と国分尼寺を建立させ、さらに国分寺の総本山として東大寺と大仏を、国分尼寺の総本山として法華寺を平城京に建立。

出典：第14冊『平城京 全史解説』～正史・続日本紀が語る意外な史実～ 大角修、学研新書、2009年(中) 天平のパンデミック
http://www.kyoto-be.ne.jp/rakuhoku-hs/mt/education/pdf/social0_2.pdf

■ 1347年～1351年 黒死病(ペスト)のパンデミック

- ヨーロッパの人口の1/3(8千万人～1億人)が死亡。最大の被害が出たイングランドは約半数が死亡。
- 急激な人口減少が、農業構造(農奴、所有、飼料、品質)を替える。
- イギリスは、人手不足による高賃金のために、機械化による機織り機を開発し、蒸気エンジンを創り、自動機織り機を開発し、近代繊維産業を興し、イギリスの産業革命に繋がっていく。

出典：「パンデミックは、結局人間社会の大変革を強いるトリガーとなる」 May 6, 2020 <https://bit.ly/2ItPlgT>
日本経済の再生の道 三輪晴治 世界経済評論IMPACT 2020.08.17 <https://bit.ly/34VnldT>
イギリスが高賃金経済になった理由 簿記の歴史物語 第36回 MONEY PLUS <https://tinyurl.com/2g2upsmn>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

9

日本の医療制度の成り立ち(医療崩壊の遠因)

■ 明治期はコレラ、大正・昭和戦前期は結核が国家的対応課題

- コレラ対策として上下水道整備に注力(内務省)
→ 1967年整理：下水道 建設省、上水道 厚生省 → 2024年 上下水道一元化 国交省

■ 1937年、戦時体制の一貫として、「保健所法」制定、「保健所」設置

■ 戦後、結核は克服され、疾病構造が変化+介護ケア需要増大

→ 開業医が引受 → 病院化

■ 高齢者医療費の抑制&分権化 → 保健所の機能縮小と対人保健の市町村移管

- 保健所は、対人保健[感染症(速度が遅く発生も稀少な症例)等]と対物保健を所管。
 - ・ ピーク:1992年 852所 → 2020年4月 469所 にほぼ半減。市町村に「保健センター」
- 市町村にも保健師(3.6万人、2020年)配置：予防医療推進、国民健康保険財政維持

■ コロナ禍で、患者数がピークに達すると、病床や保健所などの機能逼迫

- 160万超の日本の病床の多くは私立病院であり、政府の影響力は及ばない。
- 福祉代替的機能で存続してきたそれらの病院は、規模が小さく個室でもなく、新型コロナ症に脆弱な高齢患者を収容している。政府の要請を受け入れる物理的な余地はなかった。
- 一般市町村の保健師は感染症制御の行政回路に組み込まれていないので、保健所の逼迫を市町村の応援で乗り切ることができなかった。

出典：医療供給体制と構造的制約－日本のコロナ病床確保はなぜ困難に直面したのか－ March 22, 2023 東京財団政策研究所
<https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4215> 他

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

10

参考：保健所発祥の地

- **都市型のモデル保健所**：1935年1月、東京市京橋区（現東京都中区）明石町
- **農村型のモデル保健所**：1938年1月、埼玉県所沢町（現**所沢市**）



出典：感染症対策はなぜ見落とされてきたのか－保健所を中心とした公衆衛生の歴史を振り返る 2020年09月15日 ニッセイ基礎研究所 2020年09月15日 <https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=65456?site=nli>

コロナ禍の新たなモデル保健所の発祥の地は何処？

■ **デジタル型のモデル保健所（保健所DX）**

- ICT・AI等を活用した公衆衛生機能の強化（人手不足、情報・スキル共有）
- 都道府県機能の強化：基礎自治体の体力を超えた対応力

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

11

これから予測されること

■ 森林伐採による**更なる「人獣接点域の拡大」**

■ 気候変動による「**永久凍土の融解**」（**感染症の時限爆弾**）

● 感染症の封印

- ・ 凍土の微生物は低温に強く、0℃でも呼吸を続け、マイナス5℃でようやく活動が停止。
- ・ 温度が10℃上がるごとに活動度は倍増。
- ・ 温暖化によって現代人が免疫を持っていない未知のウイルスや病原菌が活性化し、世界に拡散するリスクがある。

● 「土」は、地球上で生物の多様性が最も高い場所

- ・ コーヒースプーン2杯（10グラム）の土には、1万種類、100億個もの細菌が存在し、10個に1個はウイルスに感染している。

出典：永久凍土に眠るウイルスと感染症のリスク 2021.11.8 藤井一至 父の研究者 日経ビジネス <https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00374/102600004/>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

12

今回のコロナ禍の経緯

今回のコロナ禍の推移 1/3

■ 2019.09.13~12.7 中国 武漢市で発生

※2019年12月時点で12種類以上のウイルス株が存在 2021/03/18 <https://bit.ly/3vtZ4b5>

※発生場所、発生原因は未だ諸説あり

■ 12.18 中国 原因不明のウイルス性肺炎の発症を確認

■ 12.31 中国 WHOに「病因不明の肺炎」事例を報告

■ 2020.01.01 中国 武漢市の海鮮市場を閉鎖

■ 01.09 WHO ウイルス性肺炎の原因が新型コロナウイルスであることを中国当局が特定したと発表

■ 2020.01.15 日本 国内最初の感染者（武漢市滞在歴あり）を確認

■ 01.22-23 WHO 「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を見送り

■ 2020.01.23 中国 武漢市を都市封鎖

■ 01.30 WHO 「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」宣言

(~2023/05/05終了)

■ 2020.02.03 日本 感染者が乗船している「プリンセス号」が横浜港に入港

■ 2020.02.13 日本 新型コロナウイルス感染症による国内初の死亡者

■ 2020.03.02 日本 小学校・中学校・高校の一斉臨時休校(~春休み)

■ 2020.03.11 WHO パンデミック(世界的大流行)宣言

資料: Japa新型コロナ感染症特設コーナー <https://japa-fellowlink.wixsite.com/website-2> 掲載情報より整理

今回のコロナ禍の推移 2/3

- 2020/03/16、3月17日 中国・米国で治験開始
- 2020/04/02 世界 感染者数が100万人を超える
- 2020.04.07 日本 第1回 緊急事態宣言(～05.25)
- 2020/05/03 世界 ロシュ(スイス) 抗体検査薬 米で許可
- 2020/06/05 WHO マスク着用を推奨
- 2020/06/19 日本 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)をリリース
- 2020/06/28 世界 コロナ感染者数1,000万人を超える
- 2020/07/22 日本 GoToトラベルキャンペーン(12/20停止、予算 1兆6794億円)
- 2020/09/29 世界 感染による死亡者数が100万人を超える
- 2020/11/08 世界 感染者数5千万人を超える
- 2020/12/08 イギリス 新型コロナウイルスのワクチン接種開始
- 2020/02/23 世界 感染が南極大陸に到達し、全大陸に感染拡大
- 2020/12/05 世界 ワクチン接種開始(ロシア12.05、イギリス12.08、アメリカ12/14)
- 2021/01/08 日本 第2回 緊急事態宣言(～03.21)
- 2021/01/14 日本 外国人の新規入国全面停止 ※技能実習生等も禁止
- 2021/01/27 世界 感染者数1億人を超える
- 2021/02/17 日本 第1回目ワクチン接種開始

資料: Japa新型コロナウイルス感染症特設コーナー <https://japa-fellowlink.wixsite.com/website-2> 掲載情報より整理

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

15

今回のコロナ禍の推移 3/3

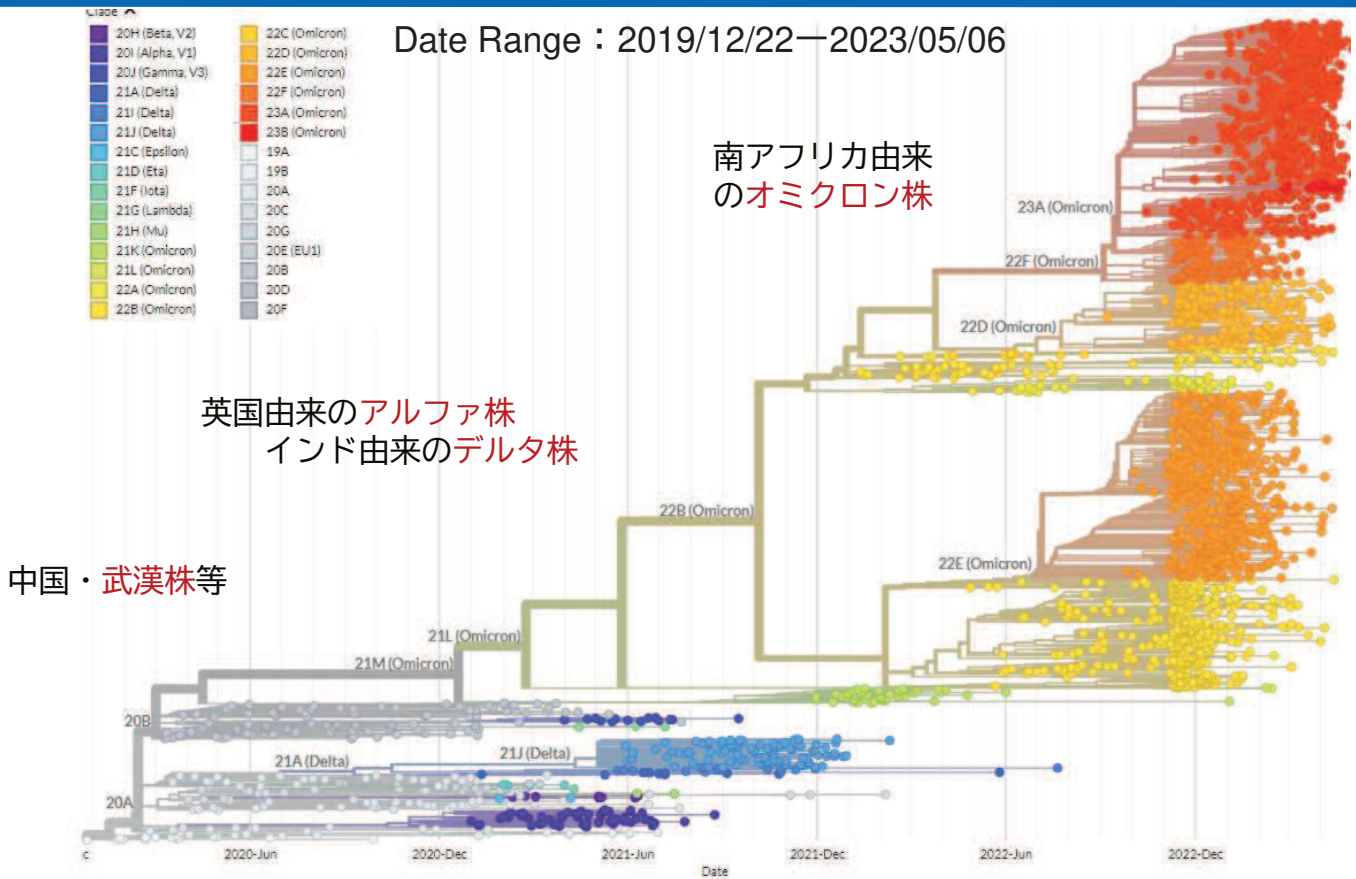
- 2021/04/25 日本 第3回 緊急事態宣言(～09/30終了)
- 2021/04/26 日本 コロナ感染死者数 1万人を超える
- 2021/07/23 世界 TOKYO2020 開幕(8月8日 閉幕)
- 2021/08/24 世界 東京パラリンピック開幕(9月5日 閉幕)
- 2021/11/30 日本 全世界からの外国人の入国を禁止
- 2022/01/09 日本 第2回 まん延防止等重点措置(～03/21)
- 2022/02/16 欧州 コロナ規制解除へ
- 2022/06/22～07/10 日本 参議院選挙(6/22公示、7/10投開票)
- 2022/08/15 日本 コロナ感染の自宅療養者が過去最多の154万人を超える
- 2022/10/11 日本 全国旅行支援(全国旅行割)開始
- 2022/10/21 日本 コロナワクチン5回目接種開始
- 2022/12/03 WHO 世界人口の9割はコロナに免疫と推定
- 2023/01/08 中国 ゼロコロナ政策を完全撤廃
- 2023/03/10 世界 ジョンス・ホプキンス大学のコロナ特設サイト データ更新終了
- 2023/05/05 WHO 新型コロナウイルスの緊急事態宣言の終了を発表
- 2023/05/08 日本 「新型インフルエンザ等感染症」から「5類感染症」へ移行
- 2023/05/19 世界 G7広島サミット開催(～5/21)

資料: Japa新型コロナウイルス感染症特設コーナー <https://japa-fellowlink.wixsite.com/website-2> 掲載情報より整理

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

16

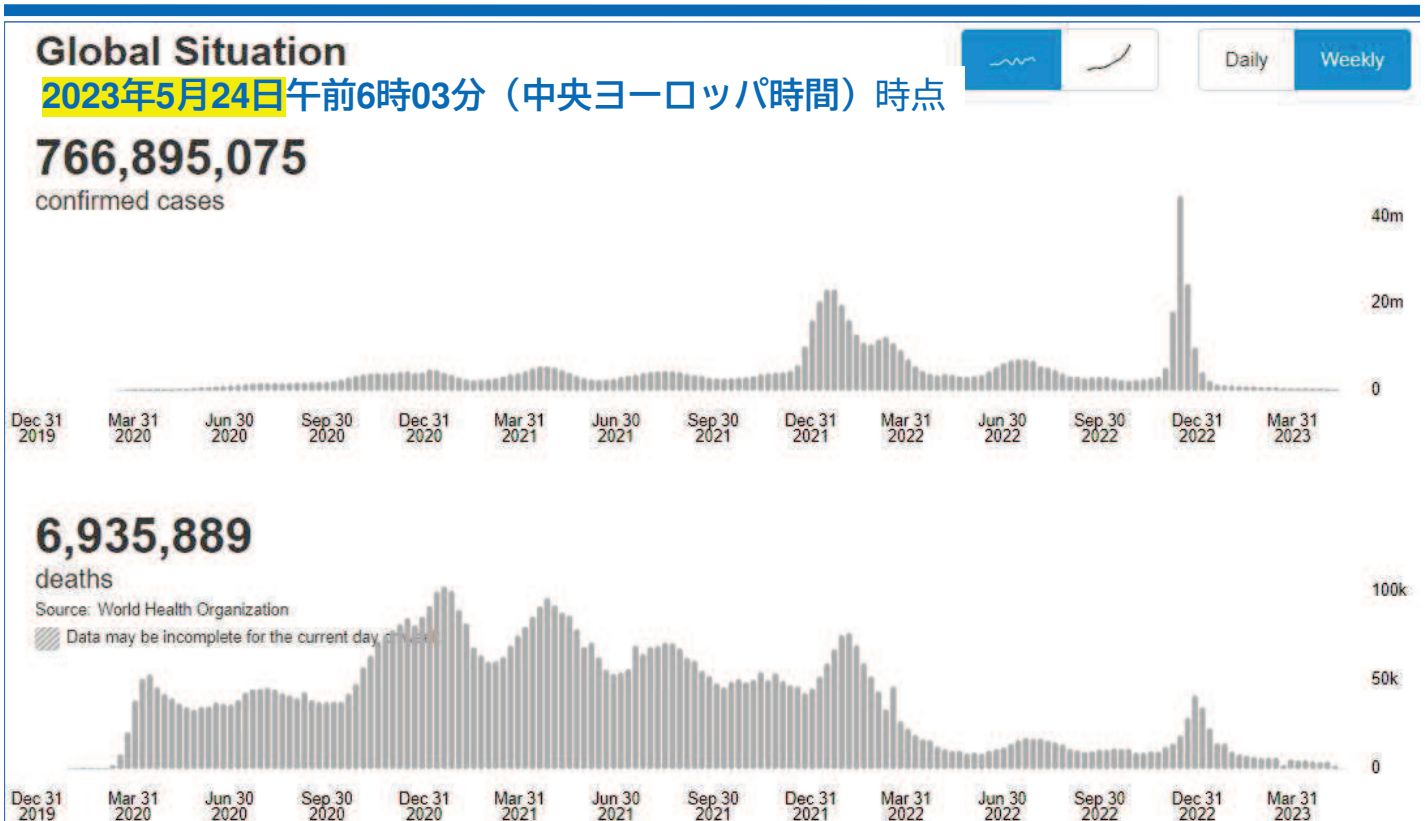
新型コロナウイルスの遺伝子系統樹



出典 : Genomic epidemiology of SARS-CoV-2 with subsampling focused globally over the past 6 months

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. <https://nextstrain.org/ncov/gisaid/global/6m>

世界の感染者・死亡者の推移



WHO : 2020~2021年の世界の超過死亡率 2.74

→ 693万人 × 2.74 = 1,899万人 ≒ 2千万人

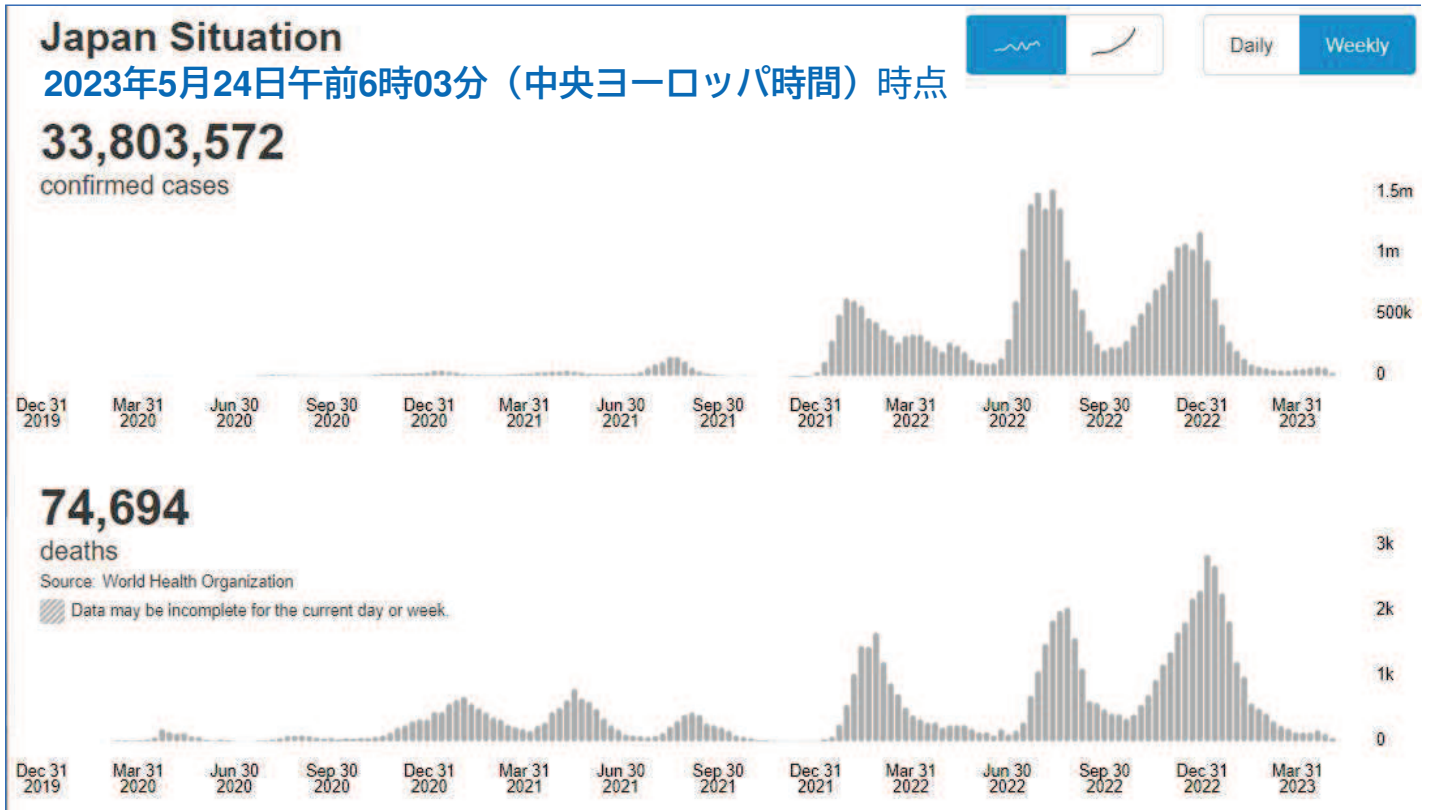
出典 : WHO 新型コロナウイルス (COVID-19) ダッシュボード

<https://covid19.who.int/>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

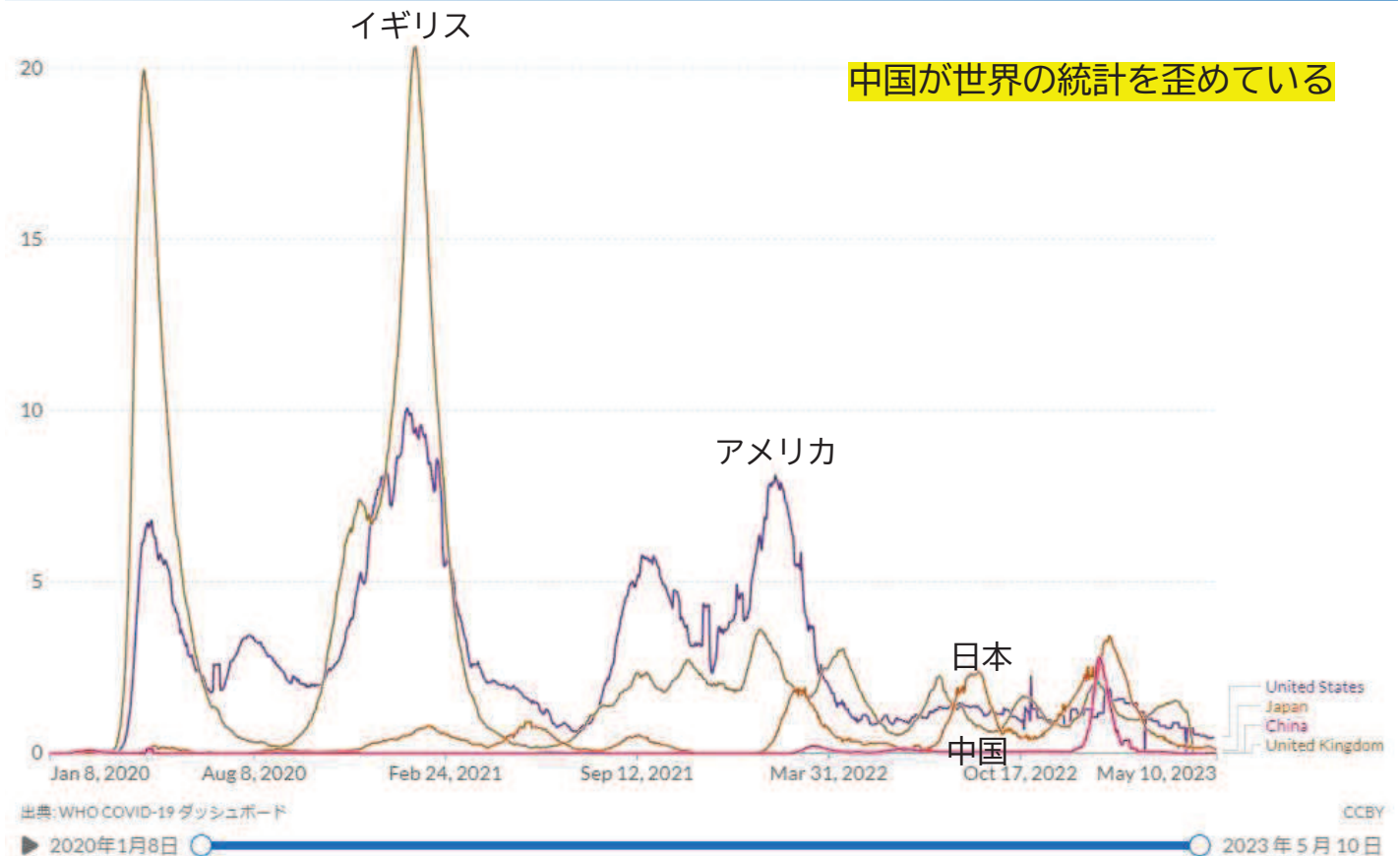
<https://tinyurl.com/2jhx7xd8>

日本の感染者・死亡者の推移



Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

国別の新型コロナウイルス感染症による死亡者数



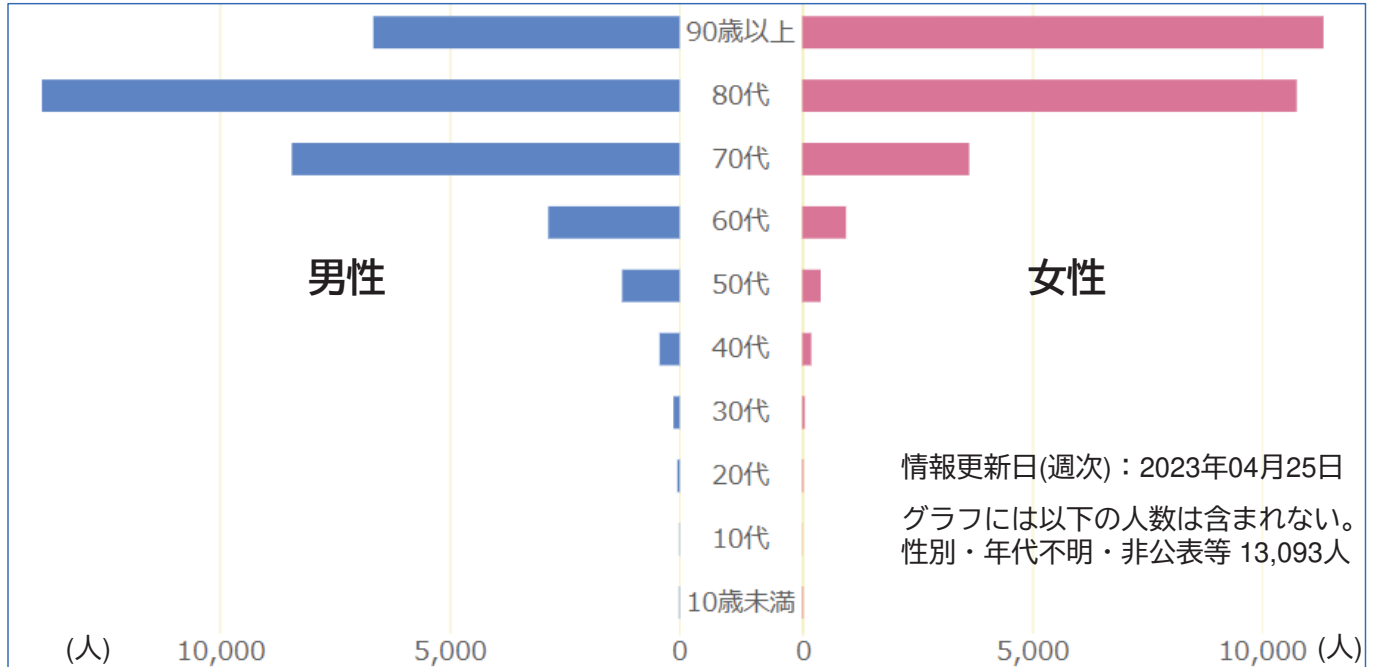
出典: Coronavirus Pandemic (COVID-19) Our World in Data <https://ourworldindata.org/coronavirus>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

新型コロナウイルス感染症(陽性者)による 性別・年代別死亡者数(累積:自治体報告数値)

- ・第8波の死者の97%は60歳以上で、平均死亡年齢は83.1歳。
- ・コロナの死者が増えた分、毎年1万人以上いたインフルの死者が減ったので、全体としての平均寿命はほとんど縮まっていない。アメリカがコロナで2歳以上縮まった。

出典：新型コロナは2019年末から「隠れた流行」が始まっていた？ 池田信夫 2023.01.16 アゴラ <https://tinyurl.com/2lesjnc>



出典：データからわかる—新型コロナウイルス感染症情報— 厚生労働省 <https://covid19.mhlw.go.jp/>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

感染症(肺炎、インフルエンザ等)死亡者数が減少

- コロナ禍期において、死因として、感染症(肺炎、脳血管疾患、インフルエンザ等)が減少し、老衰・誤嚥性肺炎が増加した。自殺者(特に若い女性、学生)も増加。

表 2. 2017 年から 2021 年までの死因分類別の年間死亡者数と COVID-19 がそれぞれの死亡者数に及ぼした影響

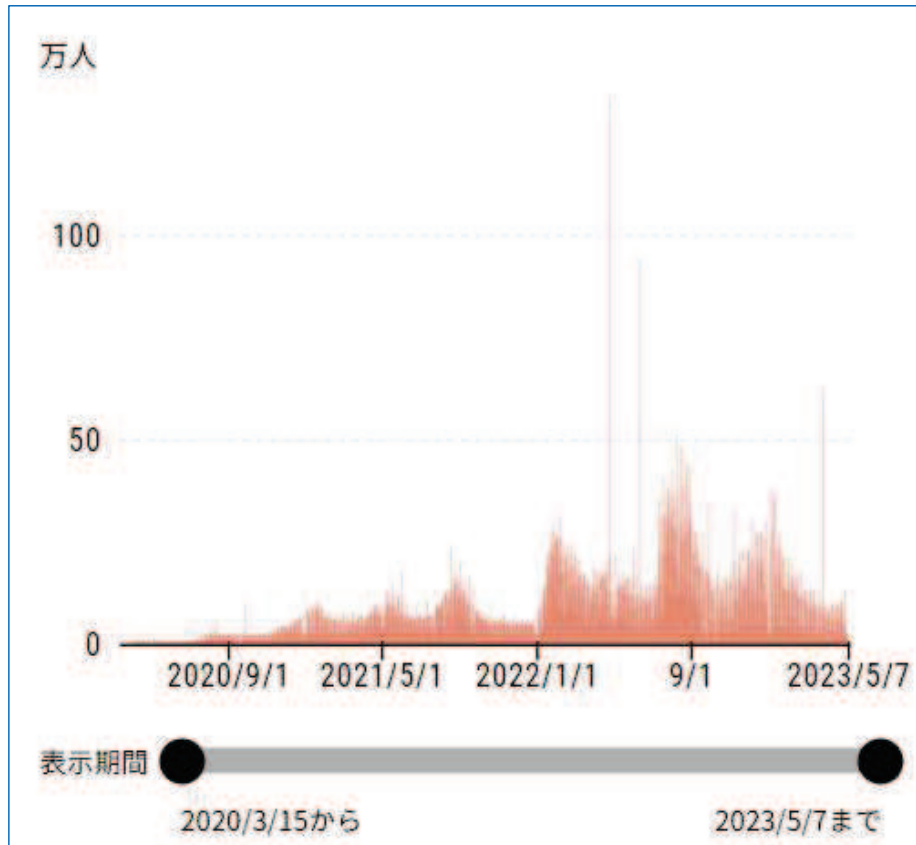
我が国の代表的な死因	年間死亡者					17 年～19 年の平均死者数	20 年から 17～19 年の平均死者数を引いた人数	21 年から 17～19 年の平均死者数を引いた人数
	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年			
全死因	1,340,567	1,362,470	1,381,093	1,372,755	1,439,856	1,361,377	11,378	78,479
悪性新生物(がん、肉腫)	373,365	373,584	376,425	378,385	381,505	374,458	3,927	7,047
心疾患	204,868	208,221	207,714	205,596	214,710	206,934	-1,338	7,776
老衰	101,411	109,605	121,863	132,440	152,027	110,960	21,480	41,067
脳血管疾患	109,896	108,186	106,552	102,978	104,595	108,211	-5,233	-3,616
肺炎	96,859	94,661	95,518	78,450	73,194	95,679	-17,229	-22,485
誤嚥性肺炎	35,791	38,460	40,385	42,746	49,488	38,212	4,534	11,276
不慮の事故	40,332	41,235	39,184	38,133	38,355	40,250	-2,117	-1,895
腎不全	25,135	26,081	26,644	26,948	28,688	25,953	995	2,735
認知症	19,551	20,521	21,394	20,815	22,343	20,489	326	1,854
自殺	20,468	20,031	19,425	20,243	20,291	19,975	268	316
COVID-19	0	0	0	3,466	16,784	0	3,466	16,784
敗血症	10,213	10,312	10,217	9,801	9,989	10,247	-446	-258
ウイルス性肝炎	3,743	3,055	2,657	2,201	1,943	3,152	-951	-1,209
インフルエンザ	2,569	3,325	3,575	956	22	3,156	-2,200	-3,134
腸管感染症	2,358	2,363	2,267	2,153	1,949	2,329	-176	-380
結核	2,306	2,204	2,087	1,909	1,845	2,199	-290	-354

厚生労働省人口動態統計より作成

出典：寄稿 人類と感染症との闘いの歴史—我々は感染症とどう向き合うべきか— 大阪公立大学大学院獣医学研究科教授 / 国際感染症研究センター所長 / アジア健康科学研究所所長 山崎伸二 経済情報 2023年1月号 紀陽銀行 <https://tinyurl.com/2l5xbo9c>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

日本:PCR検査の実施人数



出典：チャートで見る日本の感染状況 新型コロナウイルス 日本経済新聞

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

23

世界と日本:ワクチン投与量



出典: Our World in Data が照会した公式データ

CCBY

▶ 2020年12月2日 ○ 2023年5月7日

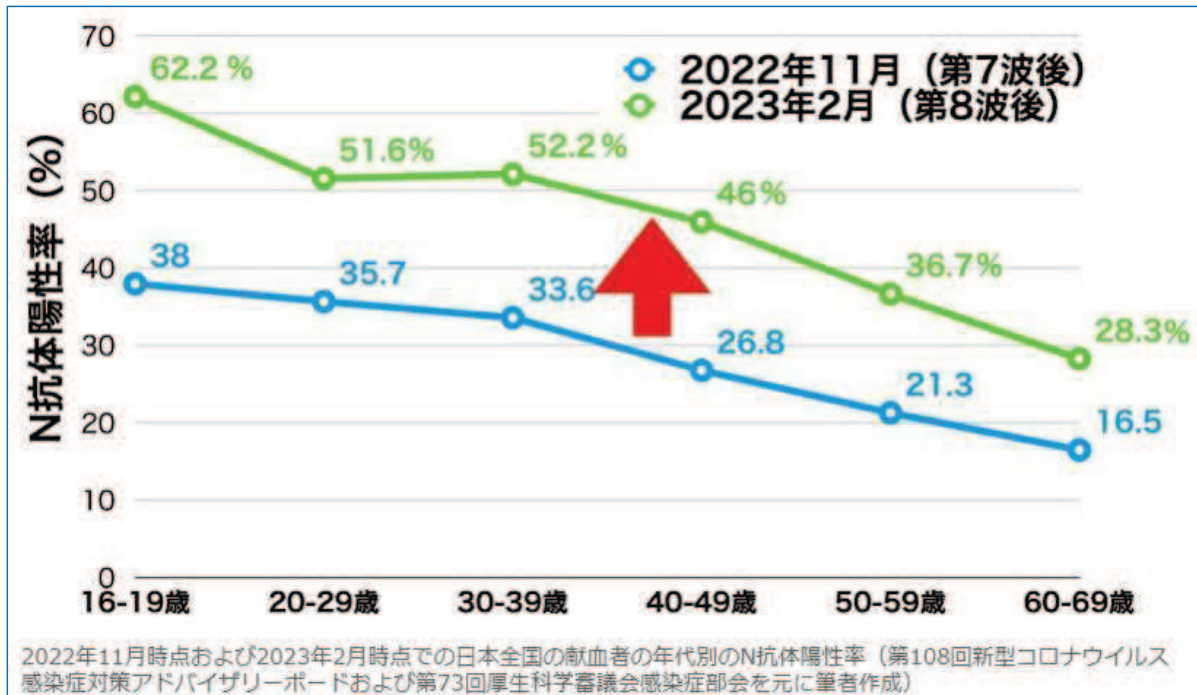
出典：Coronavirus Pandemic (COVID-19) Our World in Data <https://ourworldindata.org/covid-vaccinations>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

24

年代別の感染率(男女による差なし)

- 把握されている感染者数の規模は第7波と第8波では大きく変わらなかったにも関わらず、**死者数は第8波の方が大幅に増えていたのは何故なのか**これまでも議論されていましたが、「**実際の第8波の感染者数は第7波よりも多かったため**」



出典：日本でも4割の人がすでにコロナに感染 抗体調査から分かることは？国内でもコロナは広がりにくくなる？ 忽那賢志感染症専門医 3/19(日) 10:48 YAHOO!JAPAN ニュース <https://tinyurl.com/2q29742w>

日本に住む42.3%の人が過去に新型コロナに感染

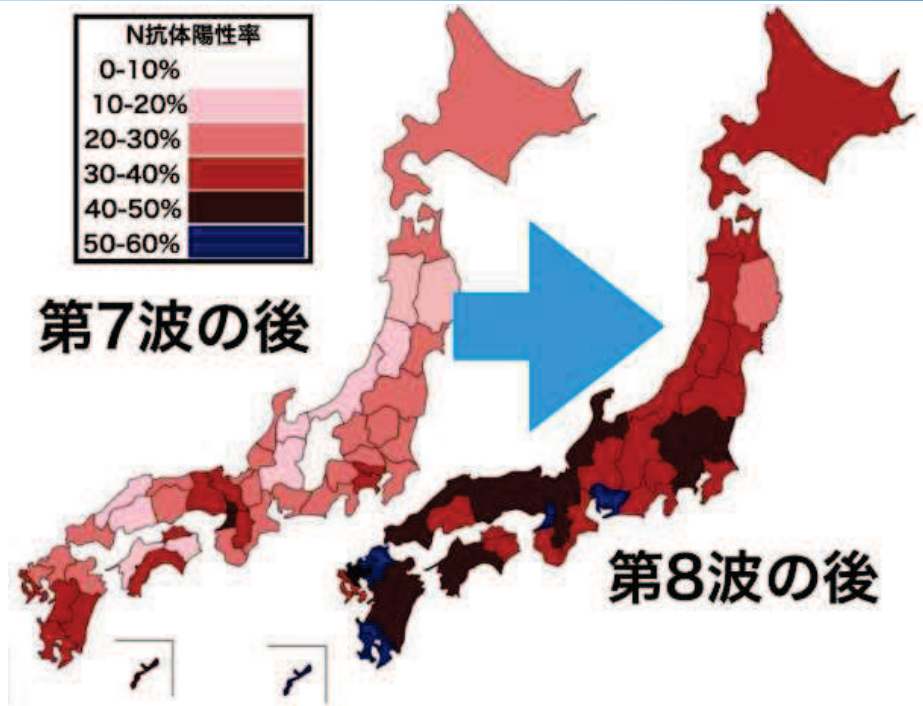
- 2023年2月に日本赤十字社で献血した16歳～69歳の13,121名を対象に、N抗体を測定

- 結果：42.3%

- 日本では5,300万人が感染

- 2023年3月16日までに、日本では3,337万人が新型コロナと診断

→感染しても診断されていない人が約2千万人いると推定



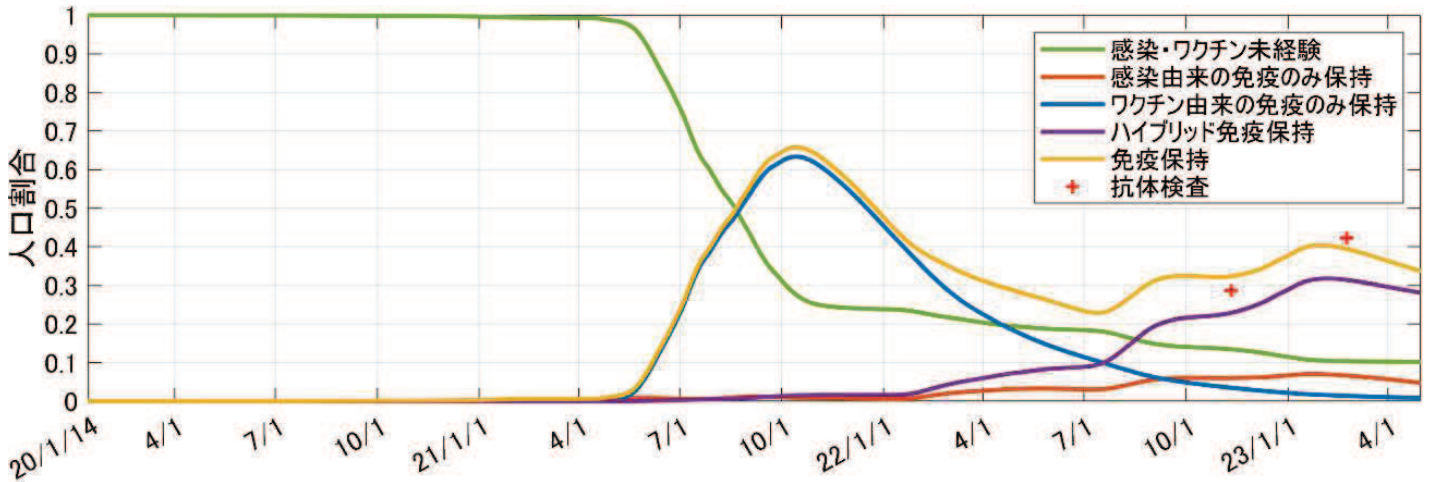
11月および2023年2月時点での日本全国の献血者の都道府県毎のN抗体陽性率 (第108回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードおよび第73回厚生科学審議会感染症部会を元に筆者作成)

- 把握感染者数の規模は第7波と第8波では大きく変わらなかったにも関わらず、**死者数は第8波の方が大幅に増えていたのは、実際の感染者が増えたため。**

出典：日本でも4割の人がすでにコロナに感染 抗体調査から分かることは？国内でもコロナは広がりにくくなる？ 忽那賢志感染症専門医 3/19(日) 10:48 YAHOO!JAPAN ニュース <https://tinyurl.com/2q29742w>

COVID-19に対する国内の集団免疫レベルの推計結果 (2020年1月14日～2023年5月1日)

- 自然感染のみ、あるいは、ワクチンのみに由来する免疫は半年で、両者に由来するハイブリッド免疫は1年で感染予防効果が半減すると仮定。ウイルス変異、行動制限、季節性などの影響は、依然考慮していない。これらの要因は過去のデータに基づく推計よりも、将来の予測を行う際に問題になる可能性がある。
- **すべての免疫保持者の割合を示す黄色の曲線**は抗体検査の結果に近い。
- 第8波後の**2023年2月以降は黄色の曲線が減少傾向**にあり、免疫レベルが減少したタイミングでの再流行は十分考えられる。



出典：COVID-19の集団免疫レベルの低下と第9波の可能性について May 9, 2023 東京財団政策研究所 <https://tinurl.com/2zgnk8k9>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

日本国内における新型コロナの致死率の推移 (Our World Dataより)

- 新型コロナの重症度が大幅に低下

【WHOの緊急事態宣言終了の判断基準】

- 死者数の世界的な減少
- ワクチン接種や感染による**集団免疫**の向上
- 感染者増加率の低下、**重症化率**低下
- 医療システムへの**負担**の軽減



出典：新型コロナはこれからどうなっていくのか？私たちは新型コロナとどのように付き合っていけば良いのか？ 忽那賢志 感染症専門医 5/7 7:38 YAHOO! JAPANニュース <https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunasatoshi/20230507-00348127>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

コロナ禍への対応

新型コロナウイルス感染症対策に関する法令

- **新型インフルエンザ等対策特別措置法**
- 新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正する法律
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 [感染症法]
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則
- 検疫法
- 検疫法施行規則

感染症の対象となる感染症の分類・症例・考え方

分類	感染症の疾病名等	分類の考え方
一類 (7)	エボラ出血熱、ペスト 他	感染力、り患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
二類 (7) ②	結核、SARS、MERS、 鳥インフルエンザ 他	感染力、り患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
三類 (5)	コレラ、細菌性赤痢、腸チフス 他	感染力やり患した場合の重篤性などに基づく総合的な観点からみた危険性は高くないものの、特定の職業に就業することにより感染症の集団発生を起こしうる感染症
四類 (44)	E型・A型肝炎、狂犬病、マラリア、 サル痘 他	人から人への伝染はほとんどないが、動物、飲食物などの物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれのある感染症
五類 (49) ④	インフルエンザ 、ウイルス性肝炎、麻しん(はしか) 他	国が感染症発生動向調査を行い、その結果に基づき必要な情報を国民や医療関係者などに提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
新型インフルエンザ等感染症【新設】 ③	新型・再興型インフルエンザ、新型・再興型コロナウイルス感染症	人から人に伝染すると認められるが一般に国民が免疫を獲得しておらず、全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症
指定感染症 ①	鳥インフルエンザ	既知の感染症の中で、一から三類及び新型インフルエンザ等感染症に分類されないが同等の措置が必要となった感染症(延長含め最長2年)
新感染症	(現在は該当なし)	人から人に伝染すると認められ、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その伝染力及びり患した場合の重篤度から危険性が極めて高い感染症

出典：感染症法における分類一覧(令和3年3月3日改正) <https://tinyurl.com/2jtsszk4> 厚労省 <https://tinyurl.com/yycgl3pm> 31

コロナ禍に関する司令塔・主たる有識者組織

■ **新型コロナウイルス感染症対策本部** (本部長 内閣総理大臣)

- 2020.1.30閣議決定 3.26設置

■ **新型コロナウイルス感染症対策専門家会議** (座長 脇田隆字 感染研所長)

- 2020.2.14発足 2020.6.24廃止

■ **新型インフルエンザ等対策有識者会議** (会長 尾身茂)

- 新型インフルエンザ等対策閣僚会議の下に、上記の「専門家会議」に代わって従前の閣議決定を一部改正し、2020年7月3日設置。有識者会議の下に下記を開催

■ **基本的対処方針等諮問委員会** (会長 尾身茂)

■ **新型コロナウイルス感染症対策分科会** (分科会長 尾身茂、代理 脇田隆字)

■ **コロナ感染症対策アドバイザーボード** (座長 脇田隆字)

- 厚労省の専門家組織。2020.2.7 第1回開催

■ **国立健康危機管理研究機構** (日本版CDC)

Centers for Disease Control and Prevention 疾病対策予防センター

- 国立国際医療研究センター・国立感染症研究所 統合 (2022.3.7 閣議決定、2025年度以降発足予定。情報工学者欠如。)

■ 感染状況

- WHO：コロナウイルス（COVID-19）ダッシュボード
- 米ジョンズ・ホプキンス大学 ※2023年3月10日 データ収集停止
- Our World in Data ※データベースによるグラフ化（カスタマイズ可能）
- 厚生労働省：データからわかる－新型コロナウイルス感染症情報－
- Nextstrain：コロナウイルス変異（ゲノムデータ分析）のリアルタイム追跡

■ 記録

- 秘闘：私の「コロナ戦争」全記録 単行本 2021/12/22 岡田晴恵(著) 新潮社
- 新型コロナウイルス感染症対応記録 監修 尾身茂（公益財団法人結核予防会理事長） 脇田隆字（国立感染症研究所） 2023年3月刊 2023年4月27日WEB公開
- 栃木県における新型コロナウイルス感染症対策～前例のない感染症への対応記録～【第1波～第8波】 令和5(2023)年4月28日 栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部
- 「コロナ禍の政策と行動から見る日本人の自由と平等観」についてのアンケート（速報）研究報告書 2023.05.29 NIRA総合研究開発機構
- 新型コロナウイルス感染症 特設コーナー 発生直後～ Japa日本専門家活動協会

コロナ禍対応(介入)の枠組みと様式

介入ターゲット	ウイルス	社会的実践
隠喩の枠組み	ウイルスを外部からの侵略者と見なす	市民とその社会的実践を内なる脅威と見なす
典型的な措置	国境管理 個人用防護具PPE(医療従事者) 脆弱な個人の隔離 集団免疫 特効薬 ワクチン	ソーシャル・ディスタンス 人びとの集まりに対する制限 マスクの着用義務 国内の旅行制限 経済・社会生活のロックダウン 学校の閉鎖 ワクチン忌避との闘い
専門知の供給源	臨床医学、ウイルス学、細胞生物学、ゲノム研究	疫学、数学的モデリング、社会科学・行動科学
想定される措置の様式	技術的解決 「銀の弾丸」的な解決策	感染予防のための市民の協力
(人びとやその生活への)侵入の度合い	低い	高い

(注)銀の弾丸 (silver bullet) とは、厄介な問題を一挙に解決する画期的な対処策 (技術、装置、薬品、等) のことを指す。「銀の弾丸などない」として用いられる。

出典：第13章 各国のパンデミック対応に関する比較分析が与える示唆—科学技術社会論の見地から— 2023-03-30 国立国会図書館 調査及び立法考査局 <https://dl.ndl.go.jp/view/prepareDownload?itemId=info:ndljp/pid/12767469>

今回のコロナ禍対応の特徴

■ 地球的レベルでの行動制限の実施

- 2020年4月30日時点で住民に対して何らかの行動制限を要請していた国は**184カ国（世界の国数：196カ国）**で、この時点で地球上の人類の大半が行動制限下にあった。
 - ・ 世界で**16億人の子供達**が**教育の中断**の影響

■ 新型コロナウイルス対応の医療技術の革新

- PCR検査は遺伝子情報が公開されてわずか10日で開発
- ワクチン開発はWHOの非常事態宣言後、わずか307日で成功して承認

■ 日本：オペレーション力が不足

- **自粛要請、同調圧力**
- 評論家や自称専門家は多いが、実際に危機管理をリード・統括して人を動かせる人、特に指揮統制を動かせる人、大戦略、戦略レベルだけでなく、**作戦、戦術レベルでオペレーションができる人は少ない。**
- **リスクコミュニケーション**などを語れる人はいても、実際にそれを**実践できる人、助言できる人も少ない。**

出典：コロナ対策で本当に必要なのは「実践」できる人材 「戦術レベル」で実行できる人は意外に少ない訳 國井 修:世界エイズ・結核・マリア対策基金（グローバルファンド）戦略・投資・効果局長 2021/09/09 10:00 東洋経済ONLINE <https://toyokeizai.net/articles/-/452172>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

35

補：日本のワクチン開発が遅れた理由

■ 圧倒的な資本力・投資力・オペレーション力の格差

- 2020年5月に米国ワクチン開発計画「**オペレーション・ワープ・スピード（Operation Warp Speed：OWS）**」（予算1兆円）を打ち出す。
 - ・ 各プロセスの並行処理、各フェーズの並行処理、研究開発に並行した生産体制の整備および薬事承認の迅速化によって達成
- 日本政府にはワクチンを何が何でも国産するという強い意志がなかった。
- ワクチンが重要な戦略物質であるという認識不足

■ ワクチン産業基盤の弱体化

- 1970年代からの**ワクチン接種副反応訴訟が続き（予防接種禍）**、開発に消極的になった。

出典：日本がワクチン開発に出遅れたのはなぜか 乏しい危機管理意識と初めから二番手目指すリーダーの姿勢 2021.3.29 横山 恭三 JBpress <https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/64666>

■ 出遅れによる治験の難しさ

- **ワクチン接種が始まれば、臨床試験実施が難しくなり、海外での大規模臨床試験の実施も視野に入れる必要があり、国産ワクチンの実用化ははっきりとは見通せない。**

出典：新型コロナウイルス 治療薬・ワクチンの開発動向まとめ【COVID-19】（3月5日UPDATE）2021/03/05

Answers News <https://bit.ly/30yr7b8>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

36

日本のコロナ禍対応の概要(政府取りまとめ)

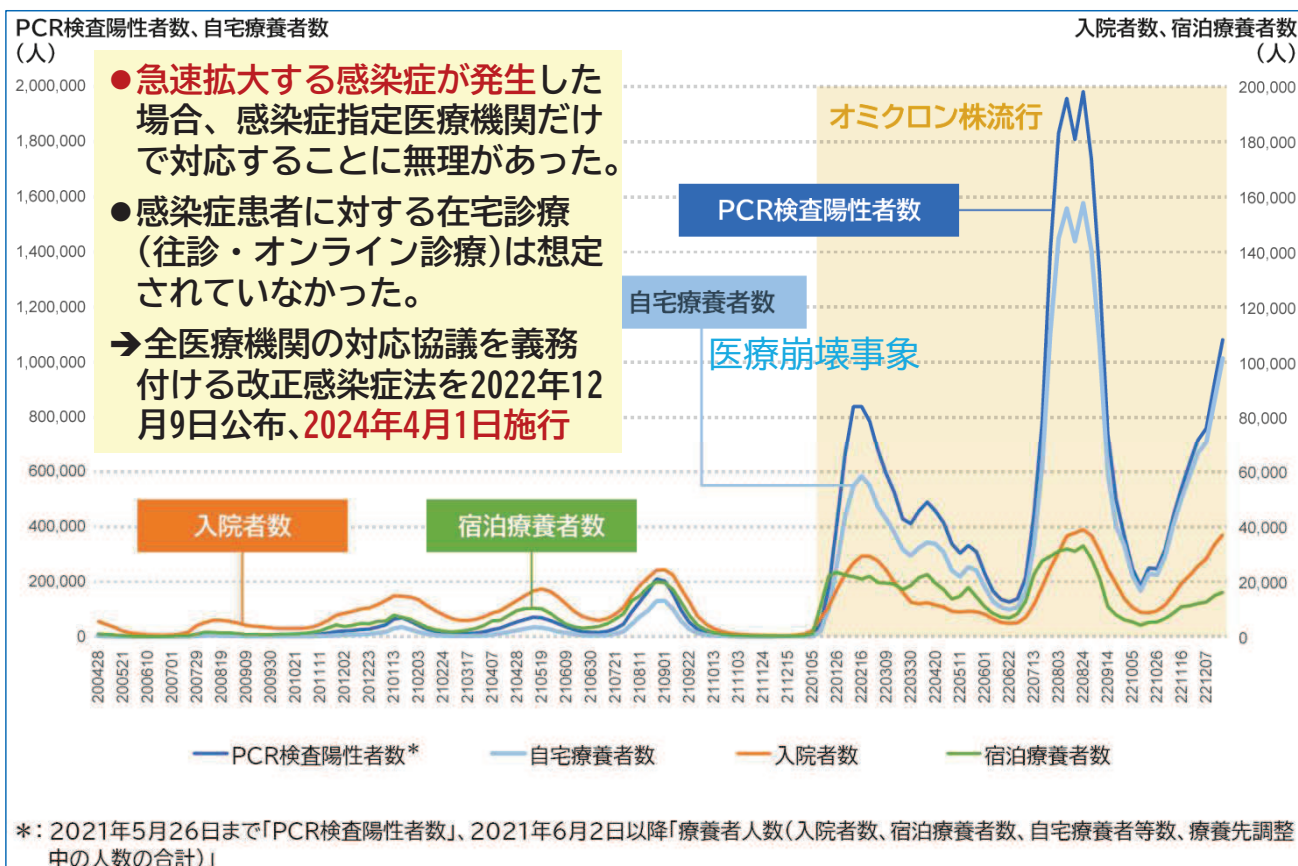
- I. 新型コロナウイルスの毒性、感染力等の特性が明らかでなかった時期(～2020/6頃)
 - 国内外の情報収集に努めつつ、感染者等を特定隔離することに重点を置いた対応を実施(特に、**クラスター対策**)
 - 特措法を改正。感染が広がる中、初めて緊急事態宣言。**外出自粛などの要請**を実施。
- II. 新型コロナウイルスの特性や、感染が起きやすい状況についての治験が深まり、**地域・業種を絞った対策を実施**した時期(～2021/3頃)
 - 長期化が見込まれる中、メリハリの効いた対策を講じ、重症者や志望者をできる限り抑制しつつ、社会経済活動を継続するよう取り組み。
 - ウイルスの特性や、初期対応の治験等を踏まえ、感染の再拡大を見据えて病床の確保に取り組み。
- III. アルファ株からデルタ株の変異株に対応した時期(～2021.10頃)
 - 重症者や志望者を抑制するため、**ワクチン接種と治療薬の活用**の促進に注力。
 - 大型連休には、飲食店・大規模施設への休業要請など**強い行動制限**を実施。
 - 夏場には、重症者数が増加し、コロナ医療以外の一般医療も含め、**医療提供体制が逼迫**。
- IV. オミクロン株に対応した時期(～現在)
 - オミクロン株の特性を踏まえた**対策の実施**。
 - **ワクチン追加接種を加速化**。
 - **学校・保育所・高齢者施設等での感染防止策・検査を徹底**。

出典：新型コロナウイルス感染症対応に関する有識者会議(第1回) 令和4年5月11日 内閣官房 <https://tinyurl.com/23jbblys>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

37

新型コロナウイルス感染者の療養場所の変化



出典：新型コロナ「五類」 次のパンデミックに備える 危機で見た医療機関の機能分化とICT化が鍵 2023.4.25 MRI

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved. <https://www.mri.co.jp/knowledge/column/20230425.html>

38

医療崩壊の背景・課題

■ 日本の医療能力が感染症に対して脆弱

- 日本では人口当たりのICU病床数が欧米諸国に比べて少ない
- 非公的病院(82%)が多く [小規模・分散コンビニ型、経営の自由]、対応可能な人材・資機材が不十分、経営リスクの観点から対応できない/しない
 - 人口減時代に入り、病床余剰が強まると医師会は公立・公的病院の縮小を強く求めた。「民間病院と競合している場合は公立・公的病院が撤退すべきだ」。今の日医会長である中川俊男氏は副会長時代にこう主張した。

出典：日本経済新聞 2021年3月3日 2:00 (2021年3月3日 5:12更新) <https://s.nikkei.com/3bKRIZa>

■ 非常時対応体制が脆弱

- 国と自治体、公共病院と民間病院・診療所の役割分担が不明確、ガバナンス欠如
 - 積極的に対応すべき公的病院や国立大学病院にも政府の権限が十分に及んでいない。
- 事前の全体マネジメント計画（BCP/地域防疫計画/デジタル化計画）がない
- リモート医療・ケアシステムがない
- プラットフォームシステム（情報共有・マッチング）がない

■ 集団免疫に対する対策（ワクチン/自然感染）の社会的合意がない

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

39

コロナ関連事業予算

年度	予算	
令和1年度（2019年）	4,564億円	
令和2年度（2020年）	76兆6,974億円	
令和3年度（2021年）	36兆9,589億円	
合計	114兆1,129億円	
重複を控除した総額	94兆4,920円	執行額 77兆円
内、4年度繰越額	13兆3,254億円	
不用額	3兆7,009億円	
令和4年度（2022年度）	[予備費] 5兆円	執行額 ??兆円

注：3カ年度のコロナ関連事業1,529事業の内、予算の執行が区分して管理されていた1,367事業の予算執行を検査

出典：令和2年度決算検査報告の特徴的な案件 令和4年11月7日 会計検査院 <https://tinyurl.com/2nygwdh>

コロナ対策、国費102兆円で論戦 岸田首相は効果力説、再検証に否定的 2023年03月03日 JIJI.COM <https://tinyurl.com/2zlltlnD>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

40

補:2020年度「コロナ予算 77兆円」の検証

- 中小企業支援：26兆円 ※雇用維持・企業存続重視 → 新陳代謝が遅滞
 - 持続化給付金 669億円：経産省 → (一社)サービスデザイン推進協議会 → [再委託：96%、642億円] → 電通 → 最大9次下請け
 - 無利子無担保融資（利子補給：各都道府県、返済保証：信用保証協会）→56兆円超へ
 - 事業再構築促進事業（100万円～最大1億円補助）1.1兆円
 - ・付加価値額を事業終了後3～5年で、年平均3%以上増加させることを目標

- 特別定額給付金事業：13兆円 ※ほとんど貯蓄へ
 - 国民一人10万円を給付：消費充当金額額は平均で2～3万円（早大 久保田荘准教授調べ）
- 地方創生臨時交付金：4兆5千億円 ※「補助裏」への利用可能化
- 地方創生拠点整備交付金：495億円 ※5年前からの事業の読み替え
- Gotoトラベル：1兆6794億円 ※実績(12/20停止)：少なくとも約5,400億円
- **コロナ対策：16兆円** ※不正受給(幽霊病床)、不正流用(財務体質改善等)

出典：あなたの使った“コロナ予算”をクイック診断！ NHK <https://tinyurl.com/2kdqtl1q>

補：コロナ対策資金の殆どが短期国債の発行（2020年4月～8月 71兆円）で賄われている。その後は借り換えが続く。最大の引受先は日銀（約5割）。

出典：コロナ対応策と資金フロー 研究レポート1726号（2021年6月）公財日本証券経済研究所 <https://tinyurl.com/2rxvq49f>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

41

直接的なコロナ対策予算の内訳

- ワクチン購入費 = 2,725円/回 = 購入予算額(2兆4036億円)/総契約数(8億8200万回分)、医療機関に支払う接種費用 = 平均3700円程度/回 計 6,500円/回
 - 2023年2月までに、ワクチンの有効期限切れ等で購入契約数の約9%（7,783万回分、2,000億円超）が廃棄
- マスク調達：3.2億枚、442億円随契発注（単価：165～68.9円）毎日新聞
 - 3割(113億円相当)が未配布、保管費6億円 <https://tinyurl.com/2ohhazok>

新型コロナ対応の予算16兆円の主な内訳（財政制度等審議会）

コロナ病床支援等の「緊急包括支援金」	6.0 兆円
ワクチン確保、接種費用	4.7
治療薬の確保	1.3
ワクチン・治療薬の開発、生産支援	1.3
医療物資の確保	0.9
PCR検査、検疫体制の強化	0.8
その他	1.0

経営改善
に流用

出典：コロナ対応に国費16兆円、4割が医療体制強化に...財務省幹部「検証が必要」 2022/04/13

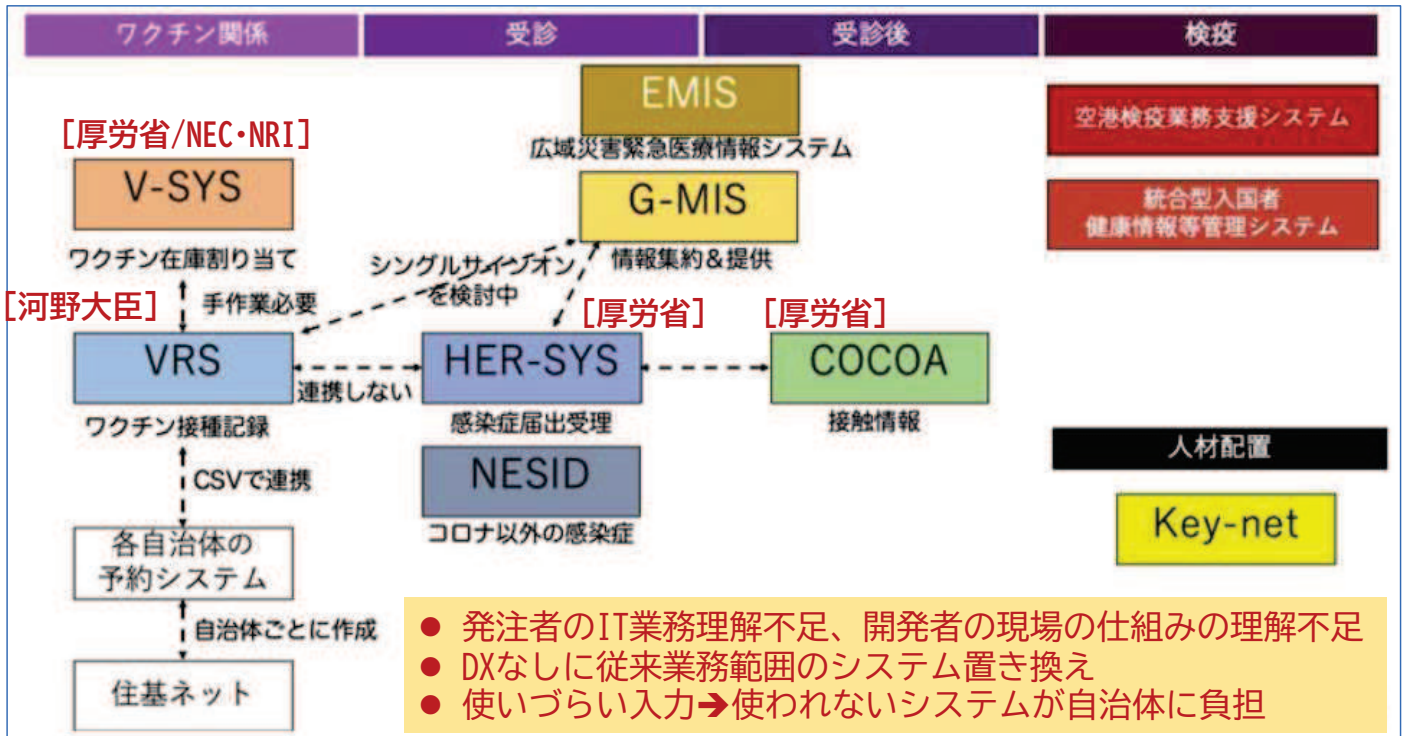
読売新聞オンライン <https://www.yomiuri.co.jp/economy/20220413-OYT1T50246/>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

42

新型コロナに関する情報システムの全体像

■ 新規システムが既存の仕組み/システムとの連携不整合のまま乱立



出典：ワクチン接種などコロナ関連のシステム乱立。どれを誰が何に利用するの？図解してみた。増澤陸(チーフ図解オフィサー) 4/28(水) 13:29 YAHOO! JAPAN ニュース <https://bit.ly/37KMQQP> に一部加筆

補：コロナ禍対応のシステム/アプリ開発

■ 官民：押印主義、対面主義、書類主義の手続き中心

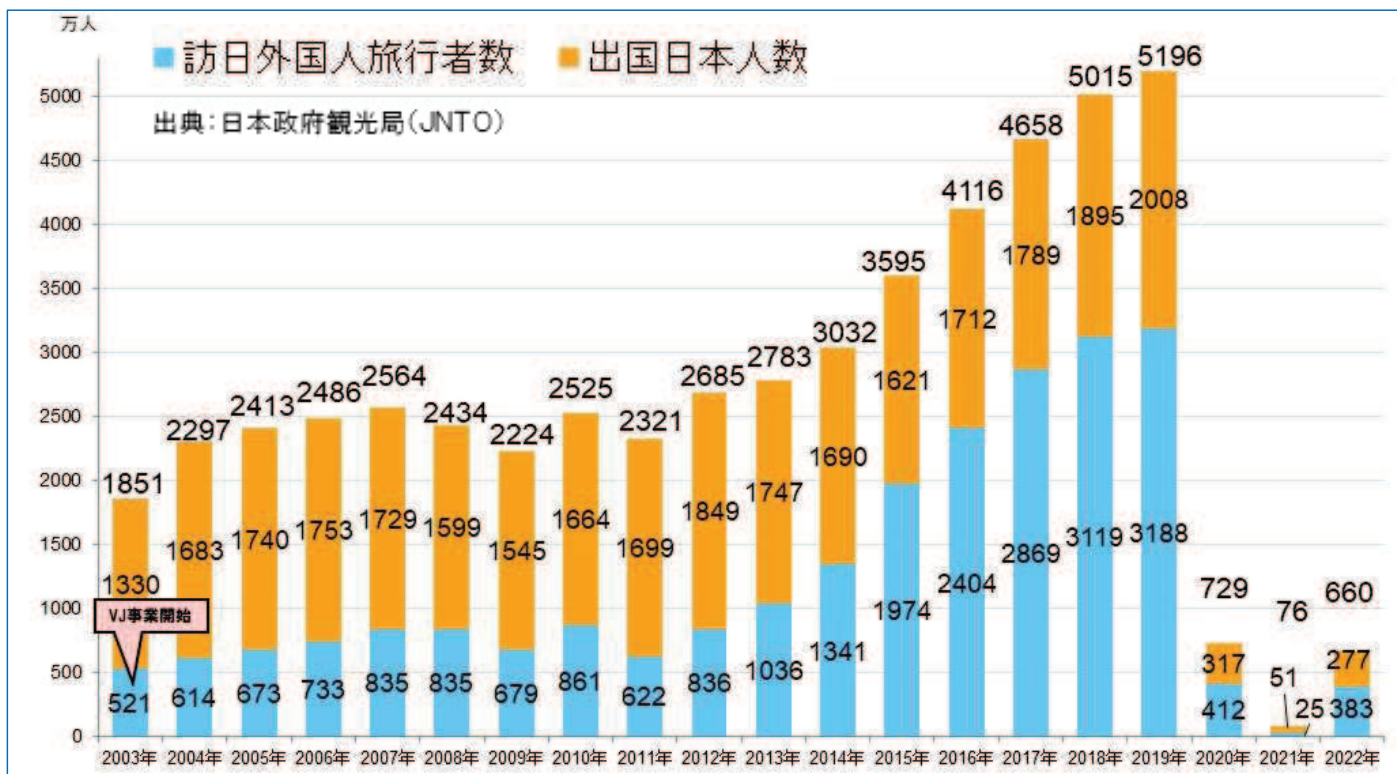
- 業務を明確化した上での文書化が遅れている → デジタル化不可

■ 新型コロナ対策システム開発の混乱

- 2009年の新型インフルエンザの教訓から、素早く感染者情報を把握する目的で、厚生労働省の研究班が2013年から7年かけて開発した「症例情報迅速集積システム(FFHS)」が使われず、HER-SYSを急遽開発・導入
 - HER-SYS開発を主導した橋本岳副大臣(当時)にはFFHSの情報は上がっておらず
 - 入力情報(120項目、入力時間30分)が多く、HER-SYSを使わず、保健所にFAX送付
 - V-SYS(ワクチン接種円滑化システム) 23.9億円
 - 厚生労働省は従来の予防接種と同じく、ワクチンを分配するところまでが国の仕事として、これに合わせたV-SYS開発。接種記録等機能なし
 - ✓ ワクチンメーカーから届いたワクチンを医薬品卸会社が基幹医療施設や接種会場に配送。あとは自治体任せ。自治体が接種を担当し、自治体を持つ予防接種台帳に記録すれば接種情報は把握できると考えていた。
 - ✓ 自治体の予防接種台帳の接種記録更新に2~3カ月要することが判明
- 河野ワクチン接種担当大臣がワクチン接種記録情報システム(VRS)開発に着手

コロナ禍の社会経済への影響

人の動き 日本の出入国の推移



モノの動き コロナ禍の国際物流(海上コンテナ)への影響

- コンテナの生産量は2019・2020年に減少したものの、年間約400万TEUの生産
 - 世界のコンテナの「箱」の総数は、2021年段階で4989万TEU（20ftで換算したコンテナ個数を表す単位）、**個数換算では3113万個。**
 - コンテナ製造地：中国が98.7%のシェア（2021年） ※製造会社 CMIC（86.2%）
 - ・ コンテナ製造中心国：米国 → 日本 → 韓国 → 中国
 - ・ **中国のコンテナ生産が停止(コンテナ不足)→ベトナム、インド、韓国での生産検討へ**
- コロナ禍 → 港湾労働者の感染（荷役作業員不足）による荷役作業の停滞 → **コンテナ船の沖待ち（滞留）増加 → 輸送遅延**
 - 上海からロサンゼルス・ロングビーチ港を経てシカゴまでの輸送日数は35日から73日に、コンテナが発発地に戻るまでに146日
 - ・ **海運の輸送力が、一気に50%減少することに相当**
- **ゼロコロナ政策による片荷 → 海外に行ったコンテナが中国に戻らない（欧米に空コンテナ滞留） → 中国の港でコンテナ不足 → 搬出できない貨物が増加 → 運送価格が暴騰 → 「海運バブル」**
 - 40footコンテナの運送価格（中国から米国）：普段は3000ドル⇒2万ドル以上

出典：新型コロナが国際物流に与えた影響 2021.4.23 NRI <https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001403344.pdf>
中国の「ゾンビ船」が急増、コロナ禍で大混乱に陥る世界の海運事情 莫邦富 2021.9.10 DIAMOND online <https://tinyurl.com/2mmaozt5>
中国が牛耳る「コンテナ製造」シェア “ほぼ100%” も、リスク回避で新勢力が覇権揺るがす 2023.5.20Merkmal <https://tinyurl.com/2pic9xd4>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

47

記録的な企業倒産の低水準

- **コロナ禍の資金繰り支援策で記録的な低水準を続けてきたが、2022年度は4月から増勢に転じ、3年ぶりに前年度を上回った。**
- 2022年度の「新型コロナウイルス」関連倒産は、2,602件（前年度比46.4%増、構成比37.8%）で、前年度（1,777件）の1.4倍に増加した。

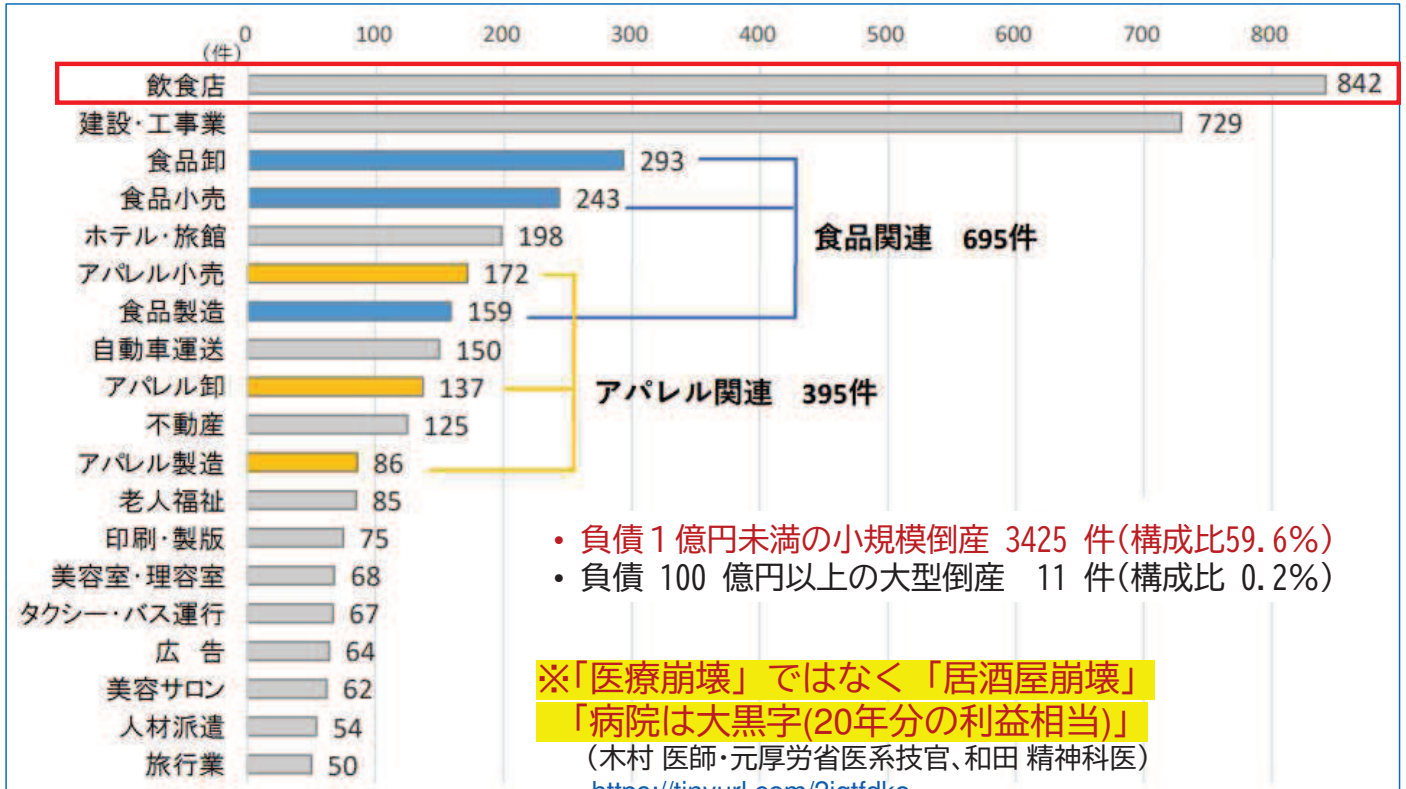


出典：2022年度（令和4年度）の全国企業倒産6,880件 2023/04/10 東京商工リサーチ <https://tinyurl.com/2gtsyphu>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

48

新型コロナ関連倒産 業種別



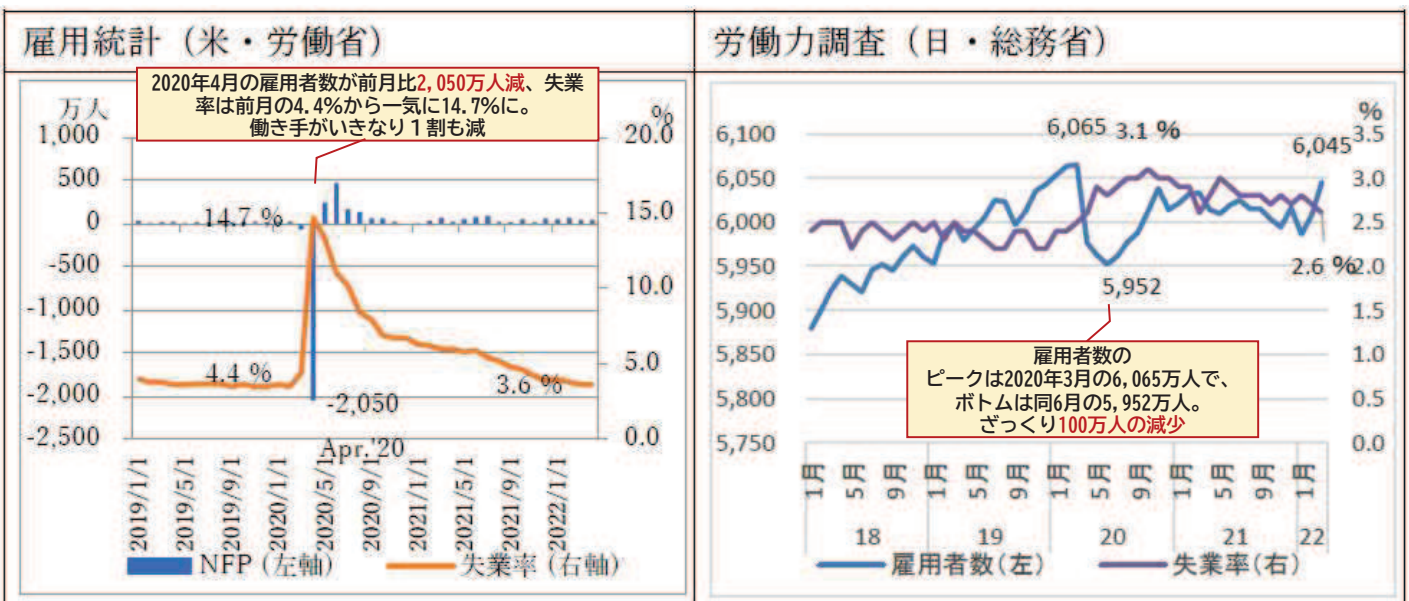
<https://tinyurl.com/2jqtdke>

出典：特別企画「新型コロナウイルス関連倒産」動向調査 5月12日16時現在判明分 食品関連の倒産が700件目前に ~ 新型コロナ関連倒産 5748件 ~ 2023/05/25 帝国データバンク <https://www.tdb.co.jp/tosan/covid19/pdf/tosan.pdf>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

49

コロナ禍における対照的な日米の雇用状況



- 米国企業：コロナ上陸を「リストラの絶好のチャンス」と考え、1割もの社員を減らしたことで、企業の競争力を一気に改善。
 - 失業者には、政府が、手厚い給付金・失業保険の上乗せ金 → 消費拡大 → インフレ
- 日本政府：企業に、雇用調整助成金・ゼロゼロ融資・持続化給付金 → 「ゾンビ企業」の増加 → コロナ禍後の金利上昇(債務返済)、政府支援打ち切り後、生き残れるか？

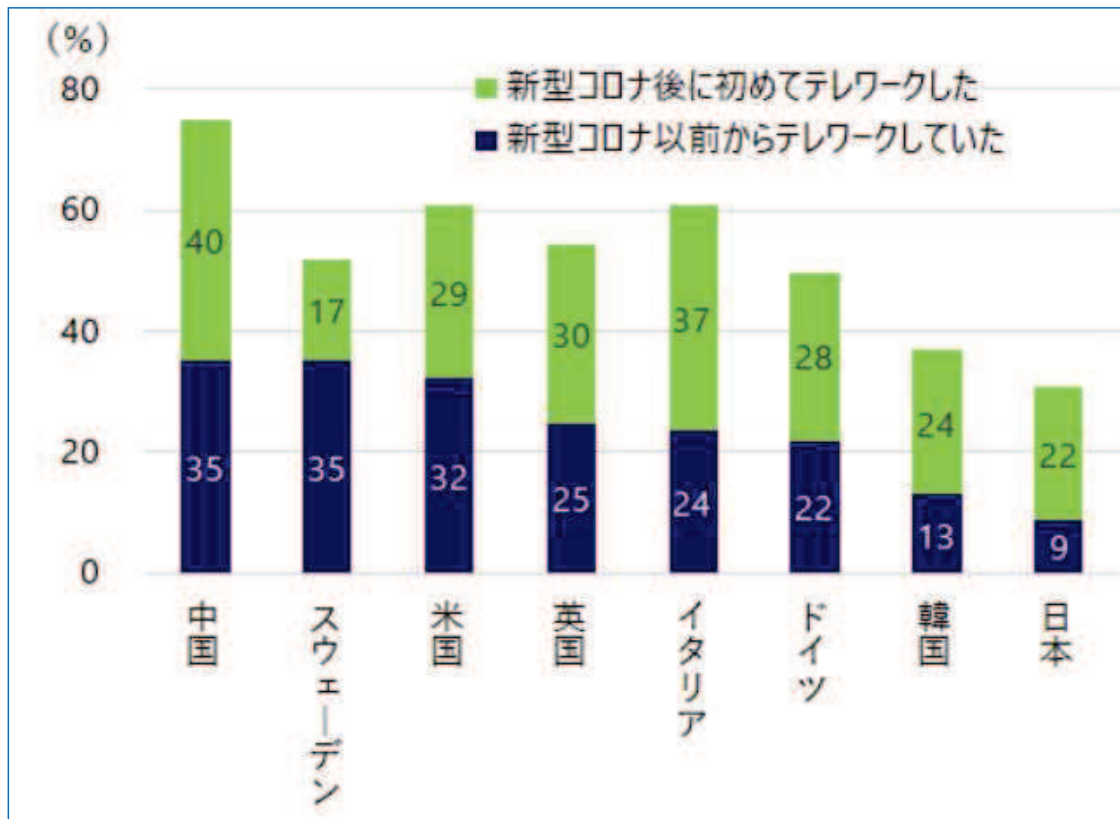
出典：溜池通信vol.741双日総合研究所 吉崎達彦 May 27th 2022 <https://www.sojitz-soken.com/tameike/687/> 他

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

50

テレワークの変化

世界8カ国におけるテレワーク利用率 (2020年7月)



出所: NRI「With コロナ期における生活実態国際比較調査」(2020年7月)

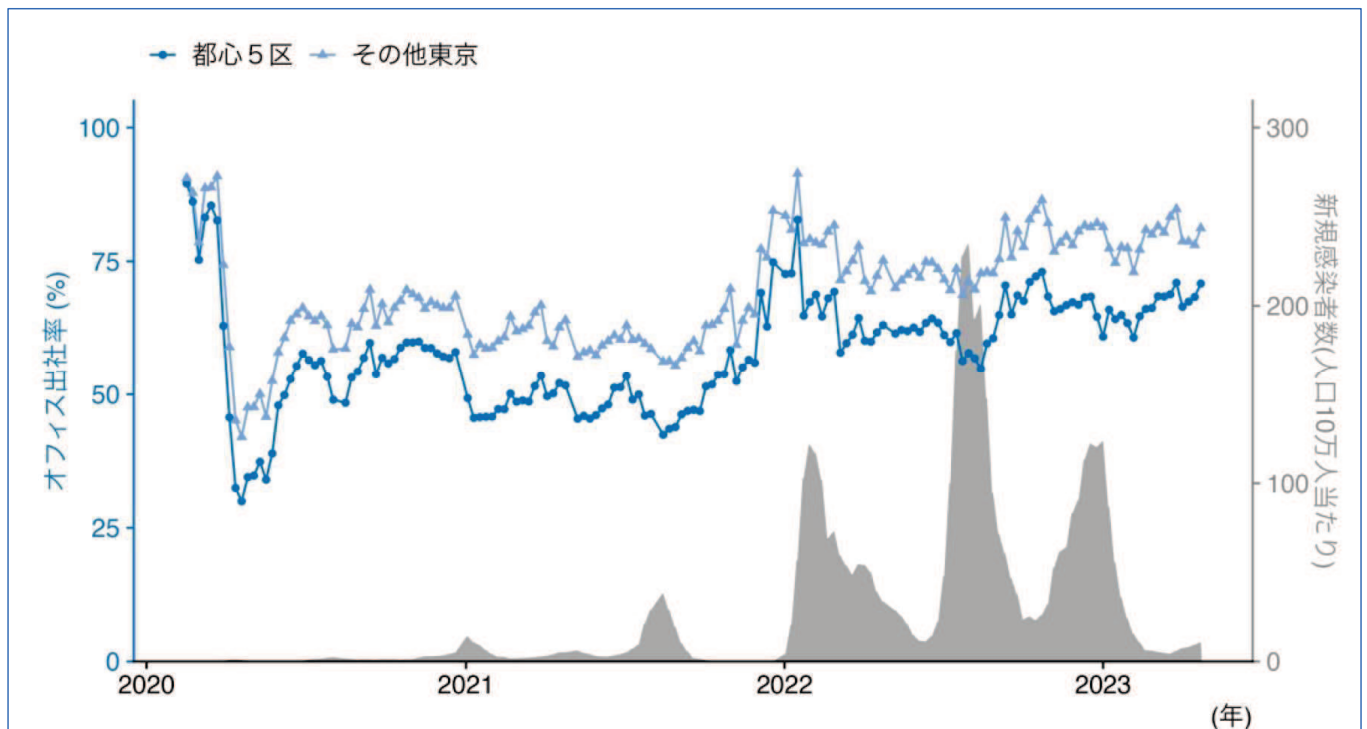
出典: 新型コロナウイルスと世界8カ国におけるテレワーク利用 ~テレワークから「フレックスプレイス」制へ~
野村総合研究所 2020年12月 <https://bit.ly/3rl9pNs>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

51

東京のオフィス出勤率の推移(携帯位置情報による推計)

■ ハイブリッド勤務 (在宅+オフィス) の定着の流れへ



出典: コロナ禍におけるオフィス出勤動向-携帯位置情報データによるオフィス出勤率の分析 2023年05月25日 ニッセイ基礎研究所 <https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=74887?site=nli>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

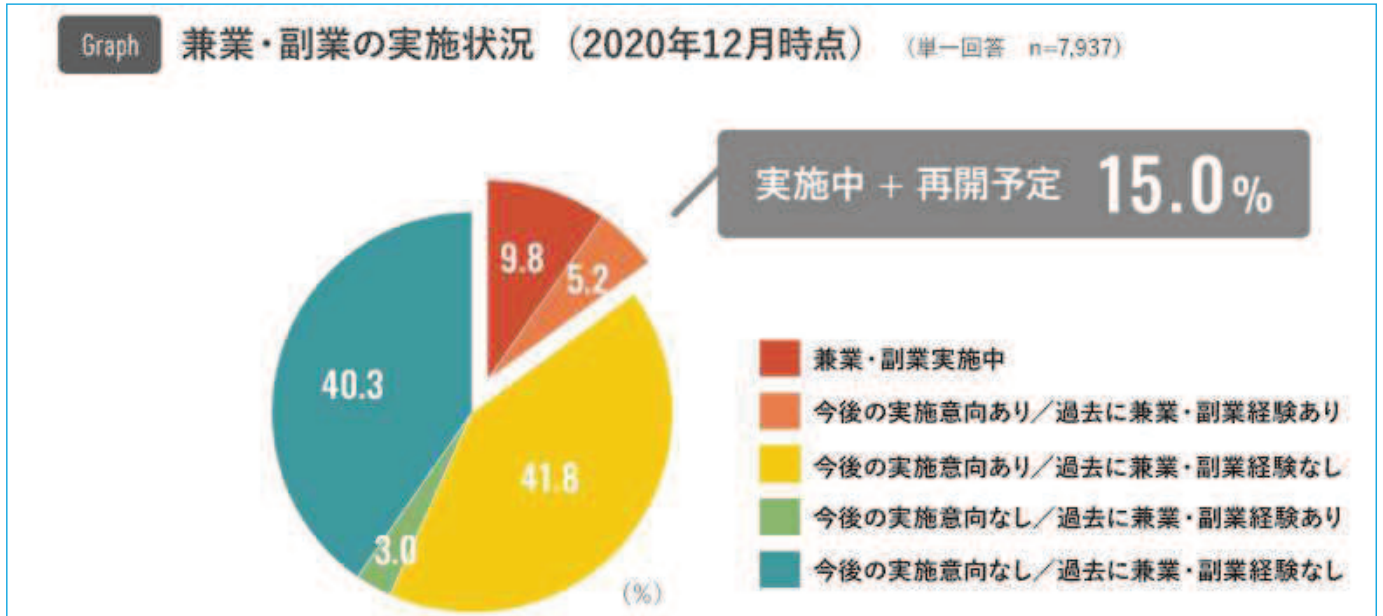
52

兼業・副業の励起

■ 働く個人の 9.8%が兼業・副業を実施中

兼業・副業制度あり企業の 72.7%が過去3年以内に制度を導入

- これまで、**役員**の社外取締役が許され、**社員**の兼業・副業が許されなかったのか？

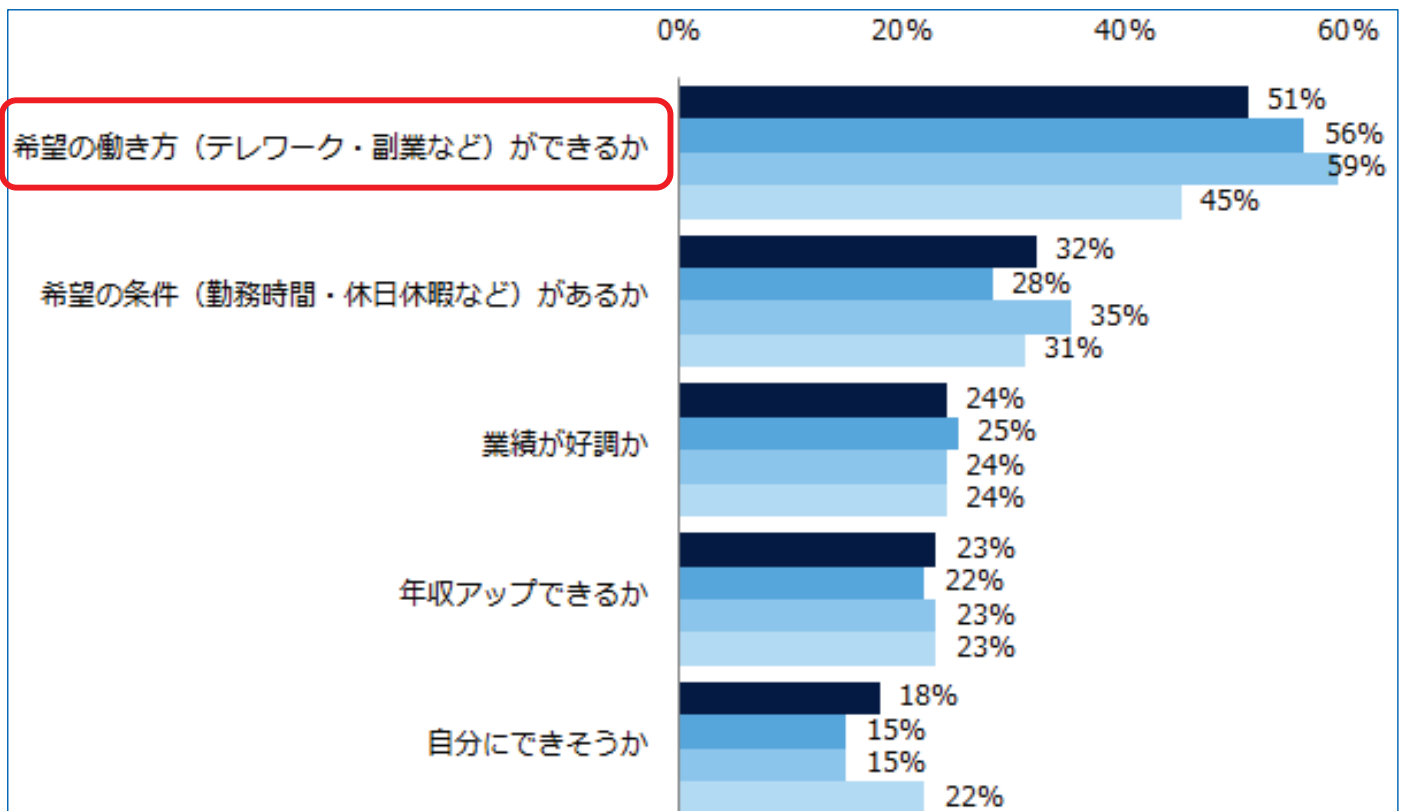


出典:兼業・副業に関する動向調査(2020) (株)リクルートキャリア 2021年2月25日 株式会社 <https://bit.ly/3v6ng2W>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

53

「コロナ禍を経験し、企業選びの軸が変わった」と回答した方へ伺います。 企業選びの軸で、特に何を重視するようになり変りましたか？(複数回答可)



出典:『エン転職』1万人アンケート(2023年2月) 「新型コロナ後の企業選びの軸」調査 2023/02/14 エン・ジャパン <https://corp.en-japan.com/newsrelease/2023/32030.html>

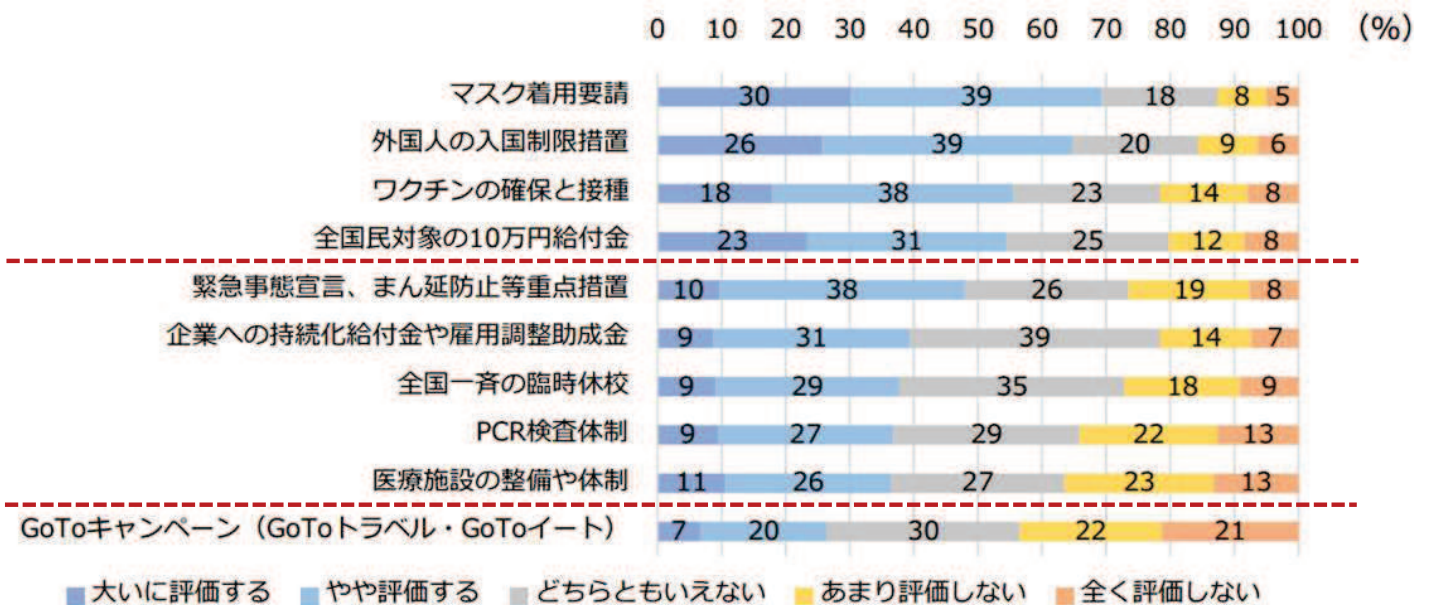
Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

54

課題

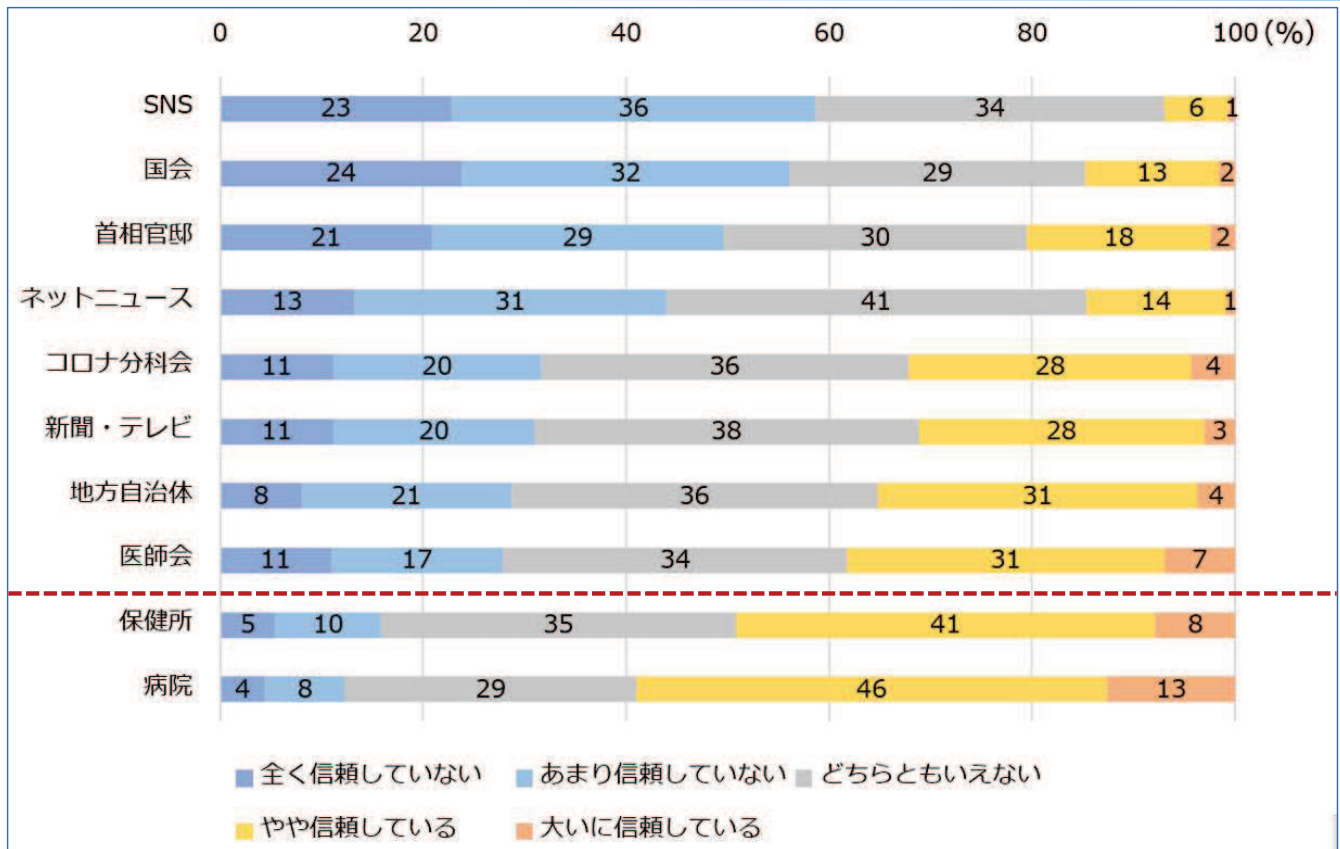
今回の「コロナ政策への評価」

コロナ政策の多くは評価する人が評価しない人の数を上回る
「GoToキャンペーン」のみ評価していない人の方が多い



※本調査は2022年10月21日(金)～2022年10月24日(月)にかけて行われ、回収数は2,000件、うち有効回答数(トラップ設問をクリアした人)は1,770件であった。以下の速報結果は、トラップ設問(注1)をクリアした人のみを対象とし、「国勢調査(2020年)」の18歳以上の日本人を母集団とみなして、ウェイトによる補正を行った集計結果である

出典：「コロナ禍の政策と行動から見る日本人の自由と平等観」についてのアンケート(速報) 研究報告書 2023.05.29 NIRA
<https://www.nira.or.jp/paper/research-report/2023/052305.html>



出典：「コロナ禍の政策と行動から見る日本人の自由と平等観」についてのアンケート(速報) 研究報告書 2023.05.29 NIRA
<https://www.nira.or.jp/paper/research-report/2023/052305.html>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

失ったもの、無くてよかったもの、得たもの

■ 失ったもの（取り戻すことができないもの）

- 700万人の命（世界）、100兆円規模の税金（日本）
- 教育機会（子供）、人格形成機会（大学）

・世界銀行はコロナ危機で世界中の教育システムが停止し、16億人以上が学校閉鎖の影響を受けたと指摘。学力低下で、生徒らが生涯を通じて得られるはずだった収入を失い、世界全体で損失額が17兆ドル（約2千兆円）。

出典：学力低下で2000兆円損失 コロナ禍で生涯収入減、世銀警鐘 2022/2/6 16:04 (JST)2/7 共同通信

■ 無くてよかったもの

- ①対面での会議 ②社内イベント ③定時勤務

出典：650社が回答！「コロナ禍でわかった、無くてよかったもの」調査 2021/09/09 エン・ジャパン <https://tinyurl.com/2oibnccd>

■ 得たもの

- 立ち止まって考える時間 → 短歌を詠み、Netで交流する人が増えた等
- 平常時には見えていなかったガラバゴス状態、構造的課題が体感できた
- 地域の自律力/自治力、首長のリーダー力の違いが認識できた
- 惰性/慣行の切り替えに踏ん切りがついた
 - ・無理を重ねての現状維持（低付加価値・低賃金）
 - ・働かせ方/働き方、住まい方、暮らし方、決済の仕方
 - ・移動の仕方：大量・中量公共交通/輸送 → 少量・個移動（利用者ファースト）

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

コロナ禍で改めてわかったこと

■ 官民ともに、リスク/責任を取らない意思決定者/組織、PM能力不足

出典：いつの間に後進国になったか 大機小機 日経新聞 2021年4月9日 2:00 <https://s.nikkei.com/3wykh37>
日本社会構造の自壊：「日本の自死」 世界経済評論IMPACT <https://bit.ly/3iaBkt0>

■ 「失敗の本質」(過去の失敗)に学ぶことができていない

- 同じような失敗の繰り返し(戦略/根拠なき願望、場当たり、逐次投入、・・・)

■ 環境変化/非常時/構造的な問題への意識/リスク認識が低い/不作為(先送り)

- 目先の効率性・利益追求/その場しのぎの先送りの合意/「やったふり」
- 目標に向かって頑張ることは得意だが、目標の妥当性を評価できない
- 仕組みの改変/切り替えができない → **現状維持は未来の選択肢を奪う**

出典：「その場しのぎの合意形成」の積み重ねがコロナにも通ずる日本の問題？ Gyoppy 2021.03.10 <https://bit.ly/2UIEgi4>

■ 迅速な最終意思決定(政策決定)と納得感ある説明ができない

- 専門家がリスペクトされていない/データに基づかない
 - ・ リスクコミュニケーションの失敗、科学コミュニケーター/リエゾン専門家不在
- 個別専門分野/縦割り組織を超えた**社会システムズアプローチ**ができない
[学際的アプローチ]
- 関連する課題/施策/Projectを**同時に解く包摂的アプローチ**ができない
[ソリューション指向]

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

59

補：コロナ禍対応においても変わらない 日本型組織の「失敗の本質」

① 内部の居心地はいいけれども、余裕のない組織

行政技官、感染研、保健所、医師

② 短期決戦思考(戦力の逐次投入、兵站や諜報の軽視、手薄な防御)

「医療崩壊を避ける」ことが最優先課題となる

③ まず「できることから考える」(帰納的アプローチ)

「検査拡充」よりも「クラスターつぶし」から

④ 属人的統合(人間関係重視→異論や反論が出にくい)

「感染研」中心の専門家会議

⑤ 学習できない組織(同じ失敗を繰り返す)

記録を残さない、事後検証しない組織(関係者)を変える/なくす

出典：溜池通信 vol.692 Biweekly Newsletter June 5 th 2020 双日総合研究所 吉崎達彦 <https://bit.ly/2WQzjim> を加筆

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

60

補:「失敗の本質」のその後

- 『失敗の本質 日本軍の組織論的研究』 (1984年刊)
 - 戦争という不確実性の高い状況に適応するには、開かれた対話による多様な「知の総合力」が不可欠
 - 日本軍：異質の排除・エリート主義 → 閉じられた共同体
→ 戦略目的と作戦との整合性の欠如という決定的な欠陥を生む。
- 「失敗の本質 戦場のリーダーシップ編」 (2012年刊)
 - 2011年福島原発事故に対する首相官邸の行動において同じことが繰り返された。その原因として(前刊の「失敗の本質」にはなかった)「フロンesis(実践的な知)の欠如」を指摘
- 今回のコロナ禍
 - 危機や極限の状況において、過去の失敗を省みず蓋をしたり、過去の成功ストーリーを妄信したりして、刻々と変化する現実への対応を誤る傾向は、今の日本においてもあまり変わっていない。過去の失敗に学べていない。
 - 危機には、直面する困難をいかに迅速に判断し、対処するかという「集合知」が求められる。「集合知」を機動的に創造することが肝になる。

出典：野中郁次郎一戦後70年、今こそ「失敗の本質」を問い直す PRESIDENT 2015年8月31日号 <http://president.jp/articles/-/16050>
コロナ対策に集合知が必要 野中郁次郎 リーダーは「物語」を 2021年6月6日 日経新聞 <https://s.nikkei.com/3xuhJU8>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

61

やるべきこと <課題>

- コロナ禍にみられた行動変容の今後をどう見極めるか、どう対応するか
 - 可逆的なこと(移動制限に起因するサービス等)
 - 不可逆的なこと(価値観、DX、土地利用・モビリティ、まちづくり等)
- 不確実性下の意思決定、オペレーションをどうするか
 - 不果実性を減らすモニタリングの仕組み、OODAループ
 - 集合知、統合知、社会システムズアプローチ、包摂的ソリューション、PM
- 「失敗の本質」を繰り返さないためにどうするか
 - “ムラ”からの脱皮、「情緒的表現」「非科学的表現」からの脱皮
 - 企業(PCR検査装置、DNA解析、医療・医療者情報収集マッチング等)の活用・効率化
 - 「問題の本質を追求しない曖昧さ」と「誰も責任を取らない無責任体制」からの脱皮
- 国・組織・個人のレジリエンス(適応力)の向上をどうするか
 - 冷静なリスク認識に基づくリスクガバナンスの確立
 - 混乱のときこそ、プロセスよりも、原理原則に立ち返る ※PMBOKも改定
 - BCP/広域防疫計画の策定・訓練・習熟(平常時の仕組みの中に組み込み)
- 原状復帰(コロナ禍前)ではなく、未来志向でどう考えるか
 - 過去の成功体験にとらわれず、イノベーション(創造的破壊)を興す
 - 新たなグローバルリスク対応

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

62

新たな地平に向けて

時代認識

文明史的視座

- 人類の文明は、今、数百年来の大きな転換点を迎えている
- コロナ禍により、社会に潜在していた差別意識が浮かび上がったり、人類が近代に入って作り上げてきたあらゆる制度や規範の成り立ちやありようが洗い出され、その意義と存在理由が改めて問われることになっている。
- 人類史上、文明の転換点には、常に感染症の拡大が関わっていた。これからは、感染症の問題を考えると、あるいは社会や文明の問題を議論する際にも、人間の社会や歴史だけでなく、動物、植物、さらには細菌、ウイルスまでも含めた「生命圏」全体を視野に入れた検討が必要
 - 人類は、生物種の中でも、極端に遺伝子多様性が乏しい生き物（危うい存在）
 - 人類が、今、地球規模で生存している理由は、**文化的多様性のゆえ**
 - 資源という点で考えると、自然資源にしろ文化資源にしろ、地方のほうが圧倒的に豊富。オンラインやDXの環境が整うことで、むしろ農業や漁業といった自然を相手にする分野が、新たな挑戦の可能な領域として開けてきている。
 - 地方への分極化が進めば、それぞれの地域の市町村、あるいはコミュニティが、世界のどこかとつながる。そうすることで、日本全体で世界とつながれる。それによって、もう一度日本全体が生き生きとした社会を作れないでしょうか？**今、改めての日本改造が視野に入ってきています。**

出典：ポストコロナの日本社会 -文明の転換点における未来への視座- 民族学博物館長 吉田 憲司 ファイナンス 2021 Dec.

財務省 https://www.mof.go.jp/press/2022/04/22/220422_01.html Professionals' Activities. All Rights Reserved.

65

多様な視座

- 「喉元過ぎれば熱さ忘れる」（楠木建 一橋大学大学院経営管理研究科教授）
 - 今回の大騒動で得た経験と教訓を俯瞰的な視点で書き残し、次世代へと伝えることが大切。
- 世界的に視野が狭窄化しているがこれを再開放できるか
(川島真 東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻教授)
 - 従前の事象・流れが加速したり、生じていながらも認識されていなかったことが認識されるようになった。COVID-19以前への「**原状復帰**」はない。
- **冷戦後の世界観に終止符を打った**（中西寛 京都大学大学院法学研究科教授）
 - 資本主義経済の世界化を通じて人類が物質的繁栄を獲得し、自由主義的な価値観に収れんするという楽観は新型コロナ流行前にすでに崩れつつあったが、新型コロナによって完全に終わりを告げた。
 - ・ 経済的繁栄だけではなく、非経済的価値（国家的、社会的価値）も重要であることを再認識
 - ・ 15世紀以来の大西洋にあった**世界の重心がインド太平洋に移行**した
 - ・ 人類は自らの**自然改変能力**を適切に律することが求められる時代になった
- いかなる選択にも**誤りの可能性があることを認識し、それに備える能力を高めることが大切**（待鳥聡 史京都大学大学院法学研究科教授）

出典：日本と世界の課題2022【テーマ別】ウィズ・ポストCOVID-19の地平を拓く 2022.09.13 NIRA

<https://www.nira.or.jp/paper/mv-vision/2022/covid-19-2-theme.html>

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

66

時代の早まわり

- コロナ禍により、これまで無視されていた課題を**無視できなくなった**
 - なぜ、「日本のみ」がこの30年間、**経済成長が止まったのか、競争力が低下したのか、なぜ貧しくなったのか**
 - ・ 付加価値創出、破壊的イノベーションを追求せず、改善・価格競争に終始
 - ✓ この「30年」は、企業の不正等の頻発と重なる（日本品質の神話崩壊）
 - ・ 雇用構造の変質：非正規雇用の拡大（全労働者の38.3%、年収250万円以下）
 - 購買力低下（消費市場縮小）、非婚化・少子化 → 経済成長が止まる
 - なぜ、**仕組みづくりが「形」だけなのか、「実」が伴わないのか**
 - ・ 「仕組み」と「実態のギャップ」の解消に**不作為**
- コロナ禍による**デジタル化**の加速、そして**生成AI**が**新たな体験価値を創発**
 - デジタルとリアル**の融合（新結合）**が、「**スコープの拡大**」（**知の爆発のきっかけ**）を惹起
 - ・ 「新結合」は新たな価値、市場、社会を生み出す**イノベーションの原点**
- 加えて、突然のロシアのウクライナ侵攻による**新たなグローバル体制へ**
 - 「**新しい時代**」には「**新しい仕組み**」「**新しい担い手**」が出現

今回のパンデミックによるパラダイムシフト

新型コロナウイルス感染症パンデミック
<3年3ヶ月>

- 国際間・国内移動人口の停止・減少化
- リアル消費・サプライチェーンの同時停止
- 都市機能の停止、非常時 システムの麻痺
- オンライン社会の先触れ体験

生成AIの普及

ウクライナ侵攻

→ 新たな地政学リスト
(新たな世界秩序へ)

パラダイムシフト

- 新たな防災・防疫（公衆衛生）・防衛マネジメントへ
- 新たなコミュニティ・都市・グローバル社会へ
- オンライン/AI社会の常態化・本格化
- 住む場所が働く場所化（誰もが何処でも働ける）
- 価値観（安全・自由・モニタリング/監視）の新たな相克
- 意識の覚醒、スコープの拡大、知の爆発
- 生命・個人・都市・文明の再考/イノベーション → レジリエントな社会

新たな地平への道筋

新たな地平への5つの道筋

1. 非常時システムの平時への組み込み ～医療DX～
2. リスクガバナンスの確立 ～防災・防疫・防衛マネジメントDX～
3. 集合知の活用 ～意思決定・政策DX～
4. レジリエントな社会づくり ～社会システムDX～
5. 新たな社会が投影される空間づくり ～国土形成DX～

1. 非常時システムの平時への組み込み ~医療DX~

■ 急速感染拡大対応の制度設計（体制・仕組みの整備）

- ステークホルダーの関係/役割/指示命令システムの整理・定期的見直し
 - ・ 政治－科学（多様な分野）、国－県・政令市等（保健所）－基礎自治体（保健師）
 - ・ 高度・緊急医療体制の集約/拠点化 → 非常時に大型専門病院に切り替え
 - ・ 補償体系の整備
- 検査、ワクチン研究開発、ワクチン調達・配送・接種・事後モニタリング
- 防疫・病院BCPの策定・訓練
- 事前に、使える情報システム・アプリの整備、平時利用
 - ・ 情報収集、共有、発信、病床マッチング、リモート医療 等
- 施設・駐車場の設計変更（分離ゾーニング可能な設計・リニューアル等）

■ デジタル型のモデル保健所・保健センターの整備

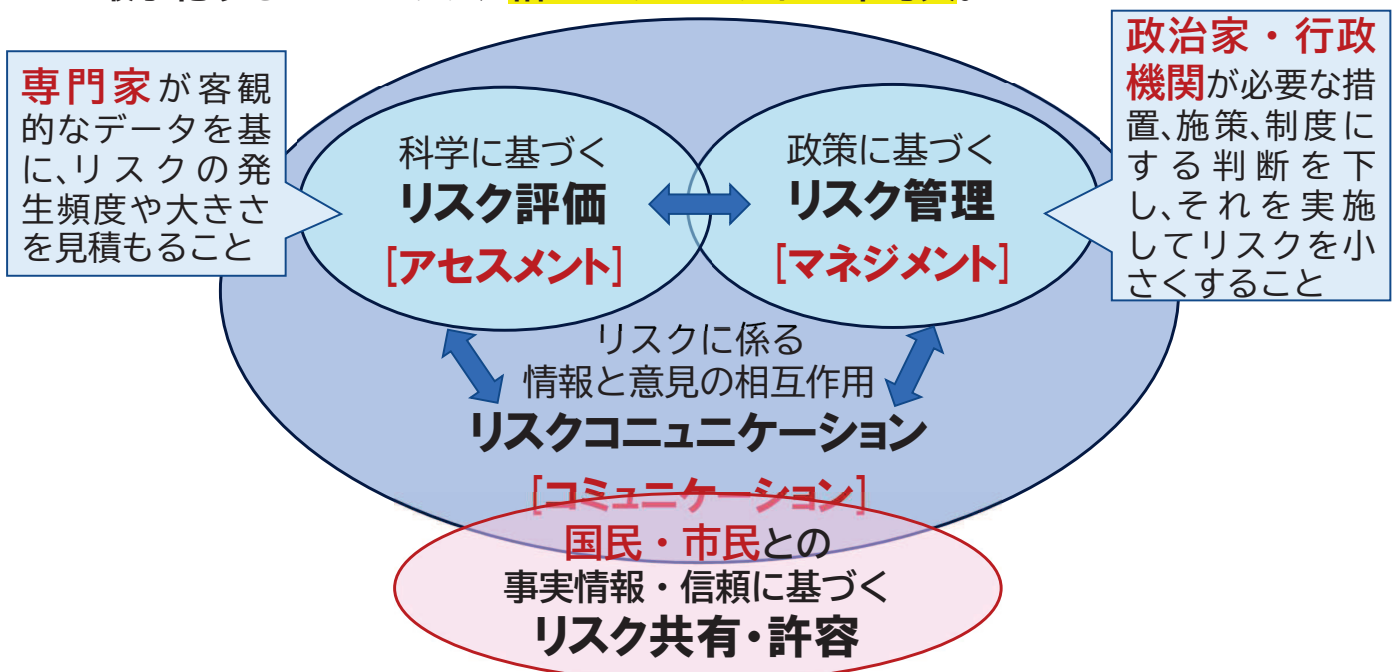
- ICT・AI等を活用した公衆衛生機能の強化（人手不足、情報・スキル共有）
- 都道府県支援機能の強化：基礎自治体の対応限界を見据えた機能強化

■ 平時対応への組み込み → 非常時対応の訓練・習熟、課題洗い出し → DXへ

- 医療業務改革（医師・保健師しかできない業務以外の業務切り出し）
- 人を見ない外来者対応、高齢者医療・介護サービス、在宅診療・介護との共存
 - ・ リモートモニタリング・診療・電子処方箋システム化+AI診断

2. リスクガバナンスの確立 ~防災・防疫・防衛マネジメントDX~

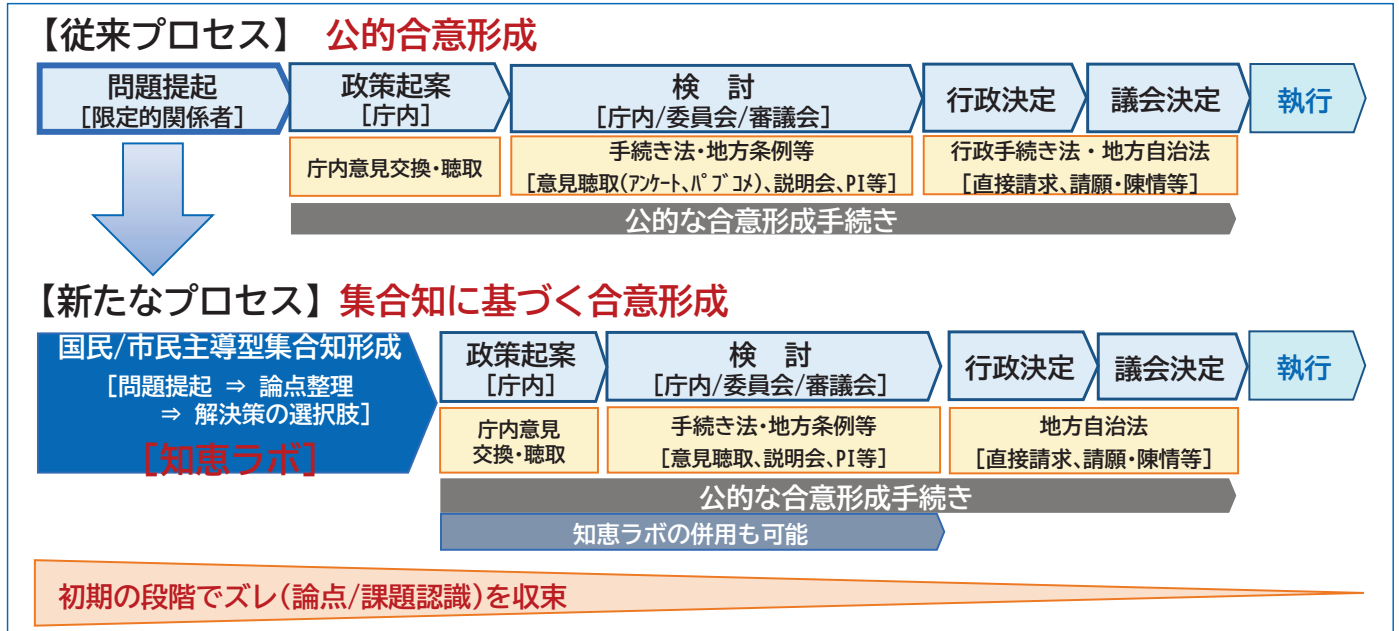
- リスクガバナンスとは、リスクに関する評価・管理・コミュニケーションの三者について、異なる組織間で牽制し合い、また時には共同して当たってリスクを最小化することであり、相互のリスクが不可欠。



3. 集合知の活用 ～意思決定・政策DX～

■「公的な合意形成」の前段階において、当該委員以外の多様な専門家を含む国民/市民等の知恵を集めた「集合知形成」（課題解決策の代替案）をデジタル技術を活用して行い、実効性のある公的な「政策起案」につなげる。

→ “ムラ” 社会からの脱皮



4. レジリエントな社会づくり ～社会システムDX～

レジリエントな社会 = 持続可能な社会

[レジリエンス = 対応力(事前) + 復旧力(事後) = 適応力]

～ 社会システムのイノベーション～

- 生活者側：ライフスタイル（社会・生活・文化様式）の変容
*働き方・住まい方・暮らし方・生き方を変える
- 供給者側：事業スタイル（企業・産業・経済活動様式）の変容
*経済成長目標に変わる社会経済的存在目標／価値の追求

新たな自律・分散・協調型ネットワーク社会へ

- 個人・小集団・地方/地域/コミュニティの重視

日本創生

SDGs 「誰ひとり取り残さず、我々の世界を変えること」の実現
transforming our world

5. 新たな社会が投影される空間づくり ～国土形成DX～

■ 空間の新結合 ～リアル空間の見直し/リアリティの再定義～

- 平常時空間と非常時空間（普段は見えない）の新結合
- 住む空間と働く空間、そして遊ぶ空間の新結合
- リアル空間とヴァーチャル空間の新結合
- **公空間と私空間の新結合（セミパブリック空間）**
- 地方－都市－東京－世界のダイレクトNWによる新結合（越境EC、電子居住者等）

■ 環境の新結合 ～縦割り行政を超えて～

- 通信ネットワーク環境(5G) + モビリティ環境(域内MaaS)
+ 生活環境(子育て・教育、医療介護、・・・、自然・文化・歴史)
+ 参加環境(交流：イベント/Project、地域活動、・・・)
+ 安全環境(防災・防疫)

■ 圏域の新結合 ～時代にあった圏域概念へ～

- 分断された流域圏の新結合（生態系、大規模災害対応）
- 行政界で分断された公共サービス圏域の新結合
- リアル圏域から開放されたネット圏域による新結合

Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

75

稽古照今

過去の出来事や先人の教えから学び、
現在の事象に照らし合わせて教訓を活かすこと
(古事記 序文)

日本を今一度せんたくいたし申候

ご清聴ありがとうございました



Copyright © 2023 SHIBAHARA yasunori & Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

76